

平成23年版

# 消防年報

第 5 6 号



芦別市消防本部



(「芦別市紋章」 昭和23年7月3日制定)

## 芦別市民憲章

明治の代、今の常磐町に第一のくわ音が立ちました。芦別誕生のうぶ声でした。それから代々の人たちが努力を重ね、美しい郷土をつくりました。

それをたたえ感謝するとともに、さらに立派にして次代へ渡したいものです。私たちは、この憲章をかかげて、日常生活の心がまえといたしましよう。

明るい家庭をつくり こどもに夢と誇りを持たせましよう  
人間の尊さを知り 社会のきまりを守りましよう  
郷土の自然を愛し 豊かなまちをきずきましよう  
思いやりと親切で 住みよいまちにいたしましよう  
教養を深め 体力を養い 文化の輝くまちをつくりましよう

(「芦別市民憲章」 昭和43年9月20日制定)

# は し が き

この年報は、平成23年中における芦別市消防行政の実績と現勢を収録し、将来の消防体制強化と火災予防上の資料として有効に活用するため編集したものであります。

この年報を通じて市民各位の防災上の指針となり、また消防行政の検討資料として活用されるならば幸いであり、それを期待してやみません。

平成24年 3月

芦別市消防本部

# 目次

## あゆみ

消防の沿革	1
平成23年の動き	9

## 消防機構・消防予算・消防職、団員

芦別市消防機関配置図	11
芦別市の位置並びに面積・人口世帯	12
人口の推移	13
市勢に対する消防現勢との比較	13
市一般会計と消防費	13
市民と消防費並びに火災損害額	13
芦別市消防機構図	14
消防職員数・職員配置状況	15
職員年齢状況・職員勤続年数	15
歴代消防長	16
歴代消防本部次長	17
歴代消防署長	17
職員の学校及び自治研修所派遣状況	18
職員技能者数	18
消防団員定員並びに階級別実員数	18
春秋・危険業務従事者叙勲受章者名簿	19
叙位受章者名簿・褒章受章者名簿	19
消防庁長官表彰（永年勤続功労者）名簿	20
表彰状況	20
消防団幹部名・消防団員勤続年数	21
消防団員年齢状況・任免状況	22

## 消防施設

消防施設（建物）一覧	23
消防緊急通信指令装置	
回線構成・無線局	24
消防無線電話の配置及び呼出し名称	25
消防緊急通信指令装置系統図	26
車両現勢一覧表	27
年間車両使用状況	28
小型動力ポンプ現勢一覧表	29
ホース配置状況	29
過去5年間の主要消防施設	29
全市水利状況	30

## 火災統計・気象

火災の概況	31
過去5年間の出火原因調べ	31

月別火災発生状況	32
時間別火災発生状況	33
管轄区域別火災発生状況	34
昭和30年以降の火災発生状況	35
月別火災等出動状況	37
風向の状況	38
過去10年間における気象の極値	38
月別気象状況	39

## 救急・救助

救急活動総括表	40
月別出動件数	40
時間別出動件数	41
町内別出動件数	41
管外搬送（転院・転送・直接搬送）出動件数	42
年齢区分別搬送人員数調	42
傷病程度別搬送人員	43
搬送人員のうち救急隊員の 行った応急処置	43
収容所要時間	44
過去5年間の出動件数及び 搬送人員の推移	44
救助出動及び活動状況	45
救急講習実施状況	45

## 予防・危険物

関係法令による処理件数	46
構造別、工事別、建築同意状況	47
防火対象物地区別及び項別調	48
防火対象物査察実施状況	49
防火対象物定期点検報告実施状況	50
予防査察実施指導状況（一般対象物）	51
危険物製造所等別貯蔵取扱数量	52
地区別危険物製造所等設置状況	52
危険物製造所等倍数調	53
甲種防火管理講習修了者数調	53
防火講習等実施状況	54
消防協力団体	54
消防協力団体状況	55
婦人防火クラブ及び 幼年消防クラブ状況	55
危険物安全協会・防火管理者協会 活動状況	55

あゆみ

## 消防の沿革

大正 3年 7月 私立下班渓（常磐）火災予防組合発足 組合長 大道栄蔵氏  
6年 2月 私立芦別消防組発足 組頭 大西六三郎氏  
7年 5月 公立芦別消防組発足 組頭 大西六三郎氏  
8年 6月 私立野花南消防組発足 組頭 明田小四郎氏  
10年 12月 公立芦別消防組成績優秀にて金馬廉 1条使用認許  
12年 5月 公立芦別消防組2部制を採用

昭和 3年 4月 私立新城消防組発足 組頭 森 清一氏  
4月 芦別大火、本町市街中央部付近より出火、158棟焼失  
4年 9月 公立芦別消防組成績優秀にて、金馬廉 2条使用認許  
8年 4月 公立芦別消防組組頭 大西六三郎氏死亡に伴い、後任に寺崎隆氏就任  
10年 4月 公立班渓消防組発足 組頭 谷口与作氏  
11年 1月 公立芦別消防組組頭 寺崎隆氏退任に伴い、後任に関塚清蔵氏就任  
14年 4月 芦別消防組を芦別警防団と改組第1分団（芦別警防団）第2分団（常磐警防団）  
第3分団（新城警防団）第4分団（野花南警防団）とし、警防団長 豊島亀三郎  
氏就任  
18年 1月 芦別警防団長、豊島亀三郎氏退任に伴い、後任に大西駒太郎氏就任  
2月 芦別警防団第1分団に常備部設置  
19年 4月 三井芦別警防団設置  
4月 芦別警防団第5分団設置（上芦別市街）  
22年 9月 芦別警防団を芦別消防団と、三井芦別警防団を三井芦別消防団と改組  
23年 4月 明治芦別消防団設置  
4月 三菱芦別消防団、高根炭鉱消防団設置  
25年 1月 高根炭鉱消防団を芦別消防団第6分団へ編入  
4月 油谷芦別消防団設置  
27年 6月 芦別消防団創立35周年記念式典  
28年 6月 芦別消防団常備員増員 定員22名  
29年 4月 市制施行に伴い、北海道消防協会芦別地方支部設立  
12月 芦別消防団第1分団に望楼設置  
30年 4月 芦別消防団常備員 定員32名  
12月 芦別市消防本部・署設置 消防職員定員32名 消防長大西駒太郎氏 消防署  
長小山田敬次郎氏 就任  
32年 12月 芦別市消防本部・署に消防用短波無線電話装置設置  
33年 4月 消防職員増員 定員36名  
12月 芦別消防団長、大西駒太郎氏退任に伴い、服部富一氏就任  
34年 4月 芦別消防団、日本消防協会より成績優秀にて竿頭綬を受賞  
12月 消防長、大西駒太郎氏退任に伴い、後任に市助役、沢内精治氏事務取扱  
35年 10月 消防署長、小山田敬次郎氏退任に伴い、後任に島田好男氏就任  
38年 4月 消防職員増員 定員40名  
7月 油谷、明治、三菱各消防団、芦別消防団に編入、第7分団（油谷）第8分団  
(明治) 第9分団（三菱）となる  
7月 同上3ヶ分団に消防署機関員出張所設置  
7月 芦別消防団第4分団滝里支部設置  
12月 芦別消防団長、服部富一氏退任に伴い、大林唯一氏就任  
39年 5月 日本損害保険組合協会より消防ポンプ自動車1台寄贈

昭和39年 7月 芦別消防団第8分団（明治）第9分団（三菱）を第5分団に、三井芦別消防団を芦別消防団に統合し、第8分団（西芦別）第9分団（頬城）第10分団（三井黄金）とし、消防署西芦別分遣所並びに頬城機関員出張所を設置  
7月 消防職員増員 定員49名

40年 6月 芦別市危険物安全協会設立  
11月 芦別消防団第7分団消防庁舎落成  
12月 芦別市消防署上芦別分遣所並びに芦別消防団第5分団消防庁舎新築落成

41年 4月 芦別市人事異動により消防署長、島田好男氏市役所に出向（市総務課長に発令）  
後任に菅田英太郎氏就任  
5月 芦別消防団第6分団（高根）に消防署機関員出張所設置  
9月 消防長事務取扱、沢内精治氏退任  
9月 消防長職務代理者として署長、菅田英太郎氏発令  
12月 芦別市消防署常磐機関員出張所並びに芦別消防団第2分団消防庁舎新築落成

42年 5月 消防職員増員 定員50名  
8月 芦別消防後援会連合会設立  
11月 芦別市防火管理者研究会設立  
11月 芦別消防団第6分団高根炭鉱閉山に伴い、同地域を芦別消防団第1分団管轄区域に編入  
12月 芦別消防団第10分団（三井黄金）に消防署機関員出張所設置、消防ポンプ自動車配置  
12月 消防用無線電話装置SSB方式に変更し、あわせて移動局3基増設  
12月 芦別消防団長、大林唯一氏辞任に伴い、大西武一氏就任

43年 4月 芦別消防団第4分団滝里支部を芦別消防団第6分団と改組  
4月 芦別消防団定員370名から310名に改組  
12月 消防本部に救急車購入配置、救急業務開始

44年 8月 芦別市総合庁舎新築落成に伴い、消防庁舎併設、消防本部・署並びに芦別消防団第1分団新庁舎へ移転  
8月 芦別市消防設立50周年記念式典並びに合同消防演習実施  
12月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署に配置

45年 6月 元消防長、大西駒太郎氏春の叙勲、勲五等瑞宝章受章  
10月 芦別市人事異動により消防長職務代理者、菅田英太郎氏が消防長兼消防署長に発令  
11月 元芦別消防団分団長、川島千代作氏秋の叙勲、勲七等単光旭日章受章  
12月 水槽付消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第5分団に配置

46年 5月 芦別消防団成績優秀により北海道消防協会から表彰旗授与  
6月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部発足に伴い、芦別地方支部を解消、中空知支部に加入  
8月 広報車購入、消防本部・署に配置  
10月 市行政機構改革に伴い、消防本部次長に 原田 最氏就任  
10月 消防署上芦別分遣所及び西芦別分遣所を上芦別出張所及び西芦別出張所と改組  
12月 化学消防ポンプ自動車購入、消防署西芦別出張所に配置  
12月 芦別消防団第6分団に消防ポンプ自動車配置

47年 7月 三井芦別鉱業所黄金鉱閉山に伴い芦別消防団第10分団解団、同地域を芦別消防団第2・第3分団管轄区域に編入  
8月 北海道消防操法訓練大会に芦別消防団第1分団出場（ポンプ車の部）  
9月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部連合消防演習実施

47年11月 消防ポンプ自動車購入、消防署に配置

- 昭和48年 3月 消防無線同報装置（非番職員招集用）30基設置  
4月 芦別消防団定員310名から300名に改正  
6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞  
7月 芦別市人事異動により消防長兼署長 菅田英太郎氏市立芦別病院に出向（事務長に発令）消防長後任に 高島勇太郎氏就任  
7月 芦別市消防本部・署人事異動により本部次長 原田 最氏消防署長を兼ねて発令  
9月 消防用無線電話装置をSSB方式からVHF方式に変更し、あわせて移動局9基増設  
12月 芦別市消防署新城機関員出張所並びに芦別消防団第3分団消防庁舎新築落成  
12月 消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第1分団に配置
- 49年 4月 芦別消防団条例一部改正により、第7分団（油谷）を解団、同地域を第1分団管轄区域に編入  
4月 芦別消防団定員300名から285名に改正  
4月 第7分団解団に伴い消防署油谷機関員出張所閉鎖  
4月 消防無線同報装置（非番職員招集用）20基設置  
6月 消防職員増員 定員55名  
8月 芦別市人事異動により消防本部次長兼消防署長 原田 最氏出向（学校給食センター事務長）、消防署長に柳原次郎氏就任  
8月 芦別市消防本部、消防署組織規則一部改正により、総務係、予防係、調査係警防係、施設係の5係に改組  
10月 芦別市消防署長 柳原次郎氏消防本部次長を兼ねて発令  
12月 消防無線同報装置（非番職員招集用）5基設置、全職員住宅に配置完了
- 50年 6月 芦別市消防本部・署開庁20周年記念式典  
10月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署頬城機関員出張所に配置  
11月 芦別市消防署野花南機関員出張所並びに芦別消防団第4分団、消防庁舎新築落成
- 51年 1月 消防救急指令装置C型1台購入、消防本部・署に配置  
3月 消防ポンプ自動車購入、消防署上芦別出張所に配置  
4月 消防長 高島勇太郎氏退任、後任に芦別市助役 島田好男氏消防長事務取扱  
4月 社団法人東日本自動車工業会より救急車2B型1台寄贈を受け、消防署に配置  
8月 消防ポンプ自動車購入、消防署常磐機関員出張所に配置
- 52年 4月 芦別市人事異動により、芦別市助役 島田好男氏消防長事務取扱を解き、消防長後任に 熊谷文一氏就任  
6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞  
8月 社団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈を受け、消防署に配置  
8月 消防ポンプ自動車購入、消防署新城機関員出張所に配置  
9月 芦別市消防署組織規程の一部改正により、頬城機関員出張所を頬城出張所に名称変更  
11月 芦別市消防署西芦別出張所並びに芦別消防団第8分団消防庁舎新築落成
- 53年 6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞  
8月 芦別市消防署長兼本部次長 柳原次郎氏辞任  
9月 芦別市消防本部・署人事異動により、大関富雄氏消防署長兼本部次長に就任

- 昭和53年 9月 消防ポンプ自動車購入、消防署野花南機関員出張所に配置  
11月 芦別市消防署ホース乾燥塔設置  
12月 芦別市消防署頬城出張所並びに芦別消防団第9分団消防庁舎新築落成
- 54年 7月 芦別市人事異動により、消防長 熊谷文一氏市役所に出向（市経済部長に発令）消防長後任に 石川 孜氏就任  
10月 消防ポンプ自動車購入、消防署頬城機関員出張所に配置  
10月 富良野信用金庫芦別支店から消防用携帯無線機（ゼネラルCP-51型出力1W）6台（100万円）の寄贈  
12月 芦別市消防署上芦別出張所並びに芦別消防団第5分団消防庁舎新築落成
- 55年 9月 消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第1分団に配置  
56年 8月 消防ポンプ自動車購入、消防署西芦別出張所に配置  
8月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部連合消防演習  
11月 元消防団副団長 古田松雄氏秋の叙勲 勳六等単光旭日章受章  
12月 芦別市消防署長兼本部次長 大関富雄氏退任  
12月 芦別市消防本部・署人事異動により、武田榮治氏消防署長兼本部次長に就任
- 57年 3月 芦別市消防長 石川 孜氏退任  
4月 芦別市人事異動により、消防長 松浦威雄氏（市民部長）就任  
5月 指令車兼広報車（トヨタクラウン）購入、消防署に配置  
5月 元芦別消防団分団長 川村千代吉氏春の叙勲 勳七等単光旭日章受章  
8月 小型動力ポンプ付水槽車（II型）購入、消防署に配置
- 58年 5月 消防団長 大西武一氏春の褒章 藍綬褒章受章  
7月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により、消防本部は総務係、予防係保安係の3係、消防署は警防係、施設係、救急救助係の3係に改組。上芦別西芦別、頬城出張所をそれぞれ分遣所に名称変更  
7月 芦別市消防本部・署人事異動に伴い、消防署長兼本部次長武田榮治氏の消防署長を解き、消防署長後任に 日下 勲氏就任  
8月 水槽付消防ポンプ自動車（II型）購入、消防署西芦別分遣所に配置  
9月 救急自動車（2B型）購入、消防署に配置
- 59年 3月 元消防団長 大林唯一氏より消防団旗の寄贈  
4月 三笠市と消防相互応援協定を締結  
4月 消防互助年金制度施行  
5月 三井芦別鉱業所より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、消防署に配置  
6月 消防団長 大西武一氏海外消防事情視察旅行  
6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞  
8月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署上芦別分遣所に配置
- 60年 1月 芦別市消防長 松浦威雄氏退任  
1月 芦別市人事異動により 茶木光義氏（福祉事務所保護課長）消防長に就任  
1月 芦別消防団長 大西武一氏退任  
2月 芦別消防団人事異動により団長 小西修身氏（副団長）就任  
6月 第2分団公設消防設立50周年記念式典実施  
6月 芦別消防団定員285名から250名に改正  
7月 新城地区婦人防火クラブ結成  
7月 北海道消防操法訓練大会に芦別消防団第1分団出場（小型ポンプの部）  
8月 消防ポンプ自動車（CD-II型）購入、芦別消防団第1分団に配置  
9月 芦別市危険物安全協会創立20周年記念式典実施

昭和 60 年 11 月 新城地区無火災 2,000 日達成式

61 年 8 月 芦別市滝里ダム建設に伴い、芦別消防団第 6 分団解団、同地域を芦別消防団第 4 分団管轄区域に編入

9 月 芦別消防団定員 250 名から 235 名に改正

10 月 芦別消防団第 6 分団（滝里）解団に伴い、第 8 分団（西芦別）を第 6 分団に、第 9 分団（頬城）を第 7 分団に改組

62 年 3 月 芦別市消防署長 日下 眞氏、芦別消防団 分団長 中村 清氏消防庁長官永年勤続功労章受章

3 月 芦別市消防長 茶木光義氏退任

3 月 芦別市人事異動により、本部次長 武田榮治氏消防長に就任（本部次長事務取扱）

5 月 芦別市防火管理者協会創立 20 周年記念式典

6 月 石狩川水防演習参加（滝川市）

63 年 3 月 芦別消防団副分団長 伊藤 研氏消防庁長官永年勤続功労章受章

5 月 元芦別消防団副団長 今野正信氏春の叙勲 眞五等瑞宝章受章

5 月 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置

平成 元年 1 月 芦別市面積、869、13km<sup>2</sup>から 865、07km<sup>2</sup>に改訂

3 月 芦別消防団分団長 野寺雄治氏 副分団長 帰山和雄氏消防庁長官永年勤続功労章受章

3 月 芦別市消防署長 日下 真氏退任

4 月 芦別市人事異動により、本部次長 清澤英雄氏（福祉事務所保護課長）就任

4 月 芦別市消防本部・署人事異動により、佐々木久氏消防署長に就任

4 月 芦別消防団を芦別市消防団に名称を改名

8 月 芦別市連合消防演習を芦別市消防演習に名称を改名

9 月 救助工作車（1型）購入、消防署に配置

9 月 芦別市消防団第 5 分団設立 50 周年式典

2 年 2 月 日本消防協会平成元年度定例表彰に芦別市消防団が優良消防団として表彰旗授与

10 月 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入、芦別市消防団第 4 分団に配置

11 月 北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（ハイエース 2B）の寄贈を受け、消防署に配置

12 月 広報車（ハイエースバン）購入、消防署に配置

3 年 2 月 北海道広域消防相互応援協定に係る調印

6 月 芦別市消防長 武田榮治氏 芦別市消防団分団長 森田迪男氏消防庁長官永年勤続功労章受章

7 月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部は総務課・予防課の 2 課、消防署は警防第 1 課・警防第 2 課の 2 課に改組

8 月 消防ポンプ自動車購入、芦別市消防団第 3 分団に配置

11 月 みどり幼稚園幼年消防クラブ発会式

4 年 1 月 芦別市消防団女性消防団員入団式

3 月 芦別市消防長 武田榮治氏退任

4 月 芦別市人事異動により本部次長 清澤英雄氏消防長に、石川正義氏（財政課財政係長）本部次長に就任

6 月 芦別連合消防後援会 25 周年記念式典

8 月 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入、消防署に配置

5 年 3 月 福住婦人防火クラブ結成式

平成 5年 3月 常磐婦人防火クラブ結成式  
6月 消防指令車（トヨタクラウンスーパーDX）購入  
6月 北海道消防協会空知地方支部中空知連合消防演習実施  
10月 開基100周年市制施行40周年記念式典実施  
11月 小型動力ポンプ付積載車購入、芦別市消防団第2分団に配置

6年 4月 芦別市人事異動により、本部次長 石川正義氏 市選挙管理委員会に出向  
(事務局長)、消防署長 佐々木久氏 本部次長兼務発令  
5月 元芦別消防団長 大西武一氏春の叙勲 勳五等瑞宝章受章

7年 3月 芦別市消防団副団長 小野寺徳雄氏 消防庁長官永年勤続功労章受章  
3月 芦別市消防長 清沢英雄氏退任  
4月 芦別市人事異動により 酒谷孝一氏(水道課長) 消防長に就任  
4月 元芦別市消防団副団長 中村清氏春の叙勲 勳六等単光旭日章受章

8年 3月 高規格救急自動車購入、消防署に配置  
7月 野花南婦人防火クラブ結成式  
10月 芦別市消防本部消防職員委員会設立  
11月 消防ポンプ自動車(CD-I型) 購入、上芦別分遣所に配置

9年 3月 芦別市消防団長 小西修身氏 消防庁長官永年勤続功労章受章  
3月 芦別市消防長 酒谷孝一氏退任  
4月 芦別市人事異動により、千葉昭夫氏(財政課長) 消防長に就任  
10月 芦別市防火管理者協会創立30周年記念式典  
12月 前芦別市消防団本部部長 帰山和雄氏秋の叙勲 勳六等瑞宝章受章

10年 3月 自治体消防50周年記念式典(東京都)  
3月 芦別市消防本部次長 佐々木久氏 芦別市消防団副団長 松本豊氏  
消防庁長官永年勤続功労章受章  
4月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により、消防本部は総務課・予防課  
の2課3係、消防署は警防第1課・警防第2課の2課4係に改組  
5月 道道美唄・富良野線富芦トンネル合同防災訓練(5月20日開通)  
7月 自治体消防制度50周年記念・平成10年度芦別市消防演習

11年 3月 芦別市消防本部次長兼署長 佐々木久氏退任  
4月 芦別市消防本部・署人事異動により、戸梶宣孝氏本部次長兼消防署長に  
就任  
5月 消防団長 小西修身氏春の褒章 藍綬褒章受章  
7月 芦別市人事異動により、消防長 千葉昭夫氏 市役所に出向(総務部付)  
消防長後任に 小塚芳治氏就任

12年 1月 消防緊急通信指令施設I型購入、消防本部・署に設置  
3月 芦別市消防長 小塚芳治氏退任  
4月 芦別市人事異動により、佐々木正昭氏(保健福祉部保健施設課長) 消防長  
に就任  
11月 北海道消防表彰で芦別市消防団が優良消防団として竿頭綬を受賞  
11月 元芦別市消防団分団長 野寺雄治氏秋の叙勲 勳六等瑞宝章受章  
11月 小型動力ポンプ付水槽車購入、消防署に配置  
11月 財団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(CD-I型) 1台寄贈  
を受け、消防署に配置

13年 3月 芦別市消防本部次長兼署長 戸梶宣孝氏退任  
4月 芦別市消防本部・署人事異動により、熊谷憲康氏本部次長兼消防署長に  
就任  
13年 5月 元芦別市消防団副団長 森田迪男氏春の叙勲 勳六等単光旭日章受章

平成13年 7月 北海道消防操法訓練大会に芦別市消防団出場（ポンプ車の部）

14年 4月 芦別市消防団長 小西修身氏 北海道消防協会副会長に就任

5月 芦別市消防団副団長 古田克志氏 消防庁長官永年勤続功労章受章

7月 芦別市人事異動により、消防長佐々木正昭氏市役所に出向（保健福祉部長に発令）消防長後任に 森貞雄氏就任

15年 3月 高規格救急自動車購入、消防署に配置

4月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部は予防課を2係に改組、消防署は西芦別分遣所閉鎖

5月 北海道道ドクターヘリ運航調整研究会協定書調印

7月 北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習実施

11月 元芦別市消防団分団長 伊藤研氏秋の叙勲 瑞宝単光章受章

16年 3月 芦別市消防団分団長 野原彬氏 消防庁長官永年勤続功労章受章

3月 芦別市消防団長 小西修身氏退任

4月 芦別市消防団人事異動により団長 古田克志氏（副団長）就任

5月 元芦別市消防本部次長 佐々木久氏危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章

8月 折りたたみ式アルミボート購入、署に配置

10月 芦別市消防団定員235名から215名に改正

17年 3月 芦別市消防団副団長中内紘治氏消防庁長官永年勤続功労章受章

3月 消防庁長官より芦別市消防本部・芦別市消防団に竿頭綬を受章

4月 芦別市人事異動により、消防長 森貞雄氏市立芦別病院に出向（病院事務長に発令）消防長後任に 熊谷憲康氏就任

4月 芦別市消防本部・署人事異動により、市川豊氏本部次長兼消防署長に就任

4月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部総務課庶務係と団係を総務係に改組

4月 消防庁長官に緊急消防援助隊登録

4月 元芦別市消防署警防第1課長 伊藤貢氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章

12月 元芦別市消防本部次長兼署長 故 佐々木久氏 叙位正七位受章

12月 水槽付消防ポンプ自動車（1-A型）購入、上芦別分遣所に配置

12月 芦別市消防本部・署設立50周年記念撮影

18年 2月 パラグアイへの消防車寄贈式（旧上芦別1号車）

3月 芦別市消防長熊谷憲康氏消防庁長官永年勤続功労章受章

芦別市消防団第1分団長斎藤勉氏消防庁長官永年勤続功労章受章

4月 元芦別市消防団長 小西修身氏春の叙勲 瑞宝双光章受章

4月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部総務課と予防課を総務予防課に改組

4月 芦別市消防団定員215名から205名に改正

11月 元芦別市消防本部総務課庶務係長 後藤富衛氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章

11月 元芦別市消防団副団長 小野寺徳雄氏 秋の叙勲 瑞宝単光章受章

19年 3月 芦別市消防団第5分団長 岡本秀夫氏消防庁長官永年勤続功労章受章

3月 芦別市消防長 熊谷憲康氏退任

4月 芦別市消防本部・署人事異動により、消防長 市川豊氏就任

4月 元芦別市消防本部次長 戸梶宣孝氏危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章

元芦別市消防本部予防課長 西 英昭氏危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章

11月 元芦別市消防長 武田榮治氏 危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章

20年 3月 元芦別市消防団分団長 須貝一徳氏 消防庁長官永年勤続功労章受章

平成 20 年 3 月 救助工作車Ⅱ型購入、署に配置

4 月 元芦別市消防署警防第 1 課長 永田守男氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章

10 月 全国消防長会道央地区協議会総会・全道消防職員意見発表会（芦別市）

11 月 芦別市消防団副団長 中内紘治氏 秋の褒章 藍綬褒章受章

11 月 北海道消防表彰で芦別市消防団が優良消防団として表彰旗を受賞

21 年 3 月 芦別市消防長 市川豊氏 芦別市消防団分団長 甲斐勝博氏消防庁長官表彰受章

11 月 芦別市消防団分団長 岡本秀夫氏 秋の褒章 藍綬褒章受章

12 月 道北ドクターへりとの協定書締結

22 年 3 月 芦別市消防団副団長 高砂裕司氏 消防庁長官表彰受章

3 月 芦別市消防団団長 古田克志氏退任

4 月 芦別市消防団人事異動により団長 高砂裕司氏（副団長）就任

6 月 芦別市消防団分団長 甲斐勝博氏 春の褒章 藍綬褒章受章

11 月 高規格救急車購入、署に配置

11 月 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、芦別市消防団第 6 分団に配置

11 月 芦別市消防団団長 高砂裕司氏 秋の褒章 藍綬褒章受章

11 月 元芦別市消防長 熊谷憲康氏 危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章

23 年 3 月 芦別市消防団分団長 伊藤吾輝夫氏 消防庁長官表彰受章

3 月 応援派遣隊用各種物品整備、購入 署に配置

3 月 東北大震災（石巻市）へ緊急消防援助隊北海道部隊救助隊として救助工作車並びに職員 5 名を派遣

3 月 芦別市消防長 市川豊氏退任

4 月 芦別市消防本部・署人事異動により、消防長 水尾誠二氏就任

4 月 元芦別市消防団長 古田克志氏 危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章

5 月 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、芦別市消防団第 1 分団に配置

8 月 防災用エアーテント購入 市に配置

## 平成23年の動き

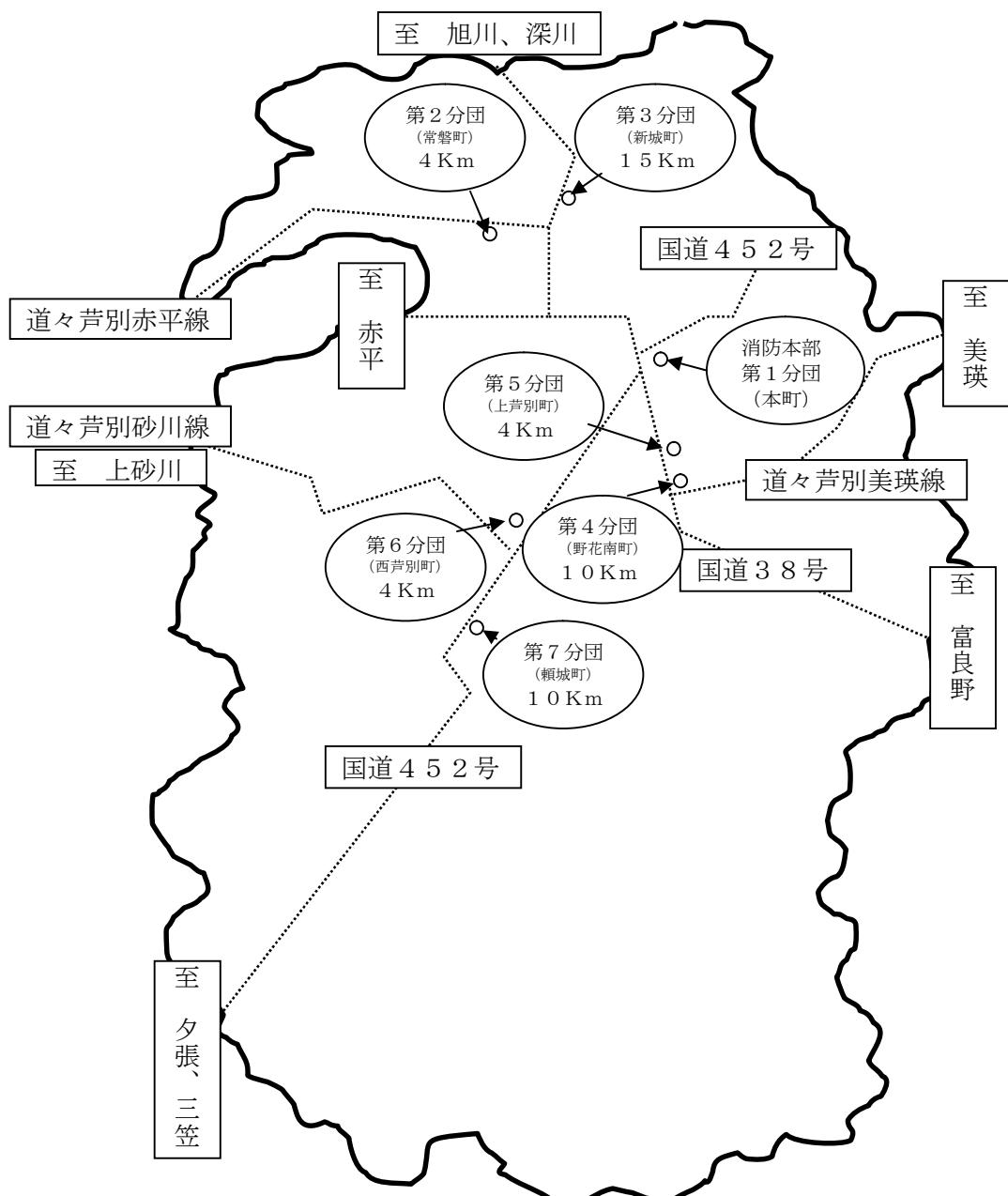
- 1月 6日 新年交礼会（福祉センター）  
6日 仕事始め  
9日 平成23年消防出初式並びに防火祈願祭  
20日 芦別市消防三役会議、第1回消防分団長会議、消防関係者新年交礼会  
29日 芦別市危険物安全協会新年交礼会
- 2月 18日 芦別市防火管理者協会法令研修会・新年交礼会  
25日 芦別市消防団実務研修会（消防本部講堂）
- 3月 1日 消防職・団員健康診断  
22日 芦別市消防団分団長 伊藤吾輝夫氏 消防庁長官表彰伝達式  
28日 緊急消防援助隊出発式  
31日 芦別市消防本部 市川豊消防長退職
- 4月 1日 人事異動並びに辞令交付  
1日 芦別市消防本部 水尾誠二消防長就任  
3日 緊急消防援助隊帰署式  
7日 芦別市消防三役会議、第2回消防分団長会議  
11日 芦別市鎮火祭・防火車両パレード  
20日 春の火災予防運動（～30日）
- 5月 9日 芦別市危険物安全協会総会  
19日 芦別連合消防後援会総会  
20日 奈井江町消防演習（奈井江町）  
27日 芦別市防火管理者協会定期総会  
28日 第1分団車（ポンプ車）納車
- 6月 2日 芦別市消防三役会議、第3回消防分団長会議  
4日 砂川広域消防組合消防演習（砂川市）  
4日 歌志内市消防演習（歌志内市）  
19日 滝川市消防演習（滝川市）  
24日 芦別市防火管理者協会・芦別市危険物安全協会合同視察研修（北見市）  
25日 北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習（浦臼町）
- 7月 3日 芦別市消防演習  
10日 赤平市消防演習（赤平市）  
14日 北海道消防操法訓練大会（江別市）  
22日 元芦別市消防団長 古田克志氏 危険業務従事者叙勲瑞宝双光章伝達式
- 8月 2日 北海道消防協会中空知分会スポーツ交流会（砂川市）  
24日 北海道消防学校気管挿管再認定講習入校（江別市）
- 9月 1日 富良野市消防演習（富良野市）

- 5日 雨竜町消防演習並びに百周年記念事業（雨竜町）  
5日 北海道消防学校専科教育警防科入校（江別市）  
9日 第63回北海道消防大会（北斗市）  
13日 第17回北中空知地区消防職員スポーツ交流会（砂川市）  
10月 4日 芦別市消防三役会議、第4回消防分団長会議  
15日 秋の火災予防運動（～31日）  
19日 北海道消防学校初任教育入校（江別市）  
20日 北海道消防学校初任教育入校式（江別市）  
31日 北海道消防学校特別教育薬剤投与講習入校（江別市）  
11月 7日 現場指揮研修会（札幌市消防学校）  
12月 6日 芦別市消防三役会議、第5回分団長会議  
6日 北海道消防学校専科教育予防査察科入校（江別市）  
30日 仕事納め

**消防機構  
消防予算  
消防職・団員**

## 芦別市消防機関配置図

分団別	配置人員		人口	世帯	職・団員 1人当人口	職・団員 1人当世帯
	職員	団員				
本部・署	51	20				
第1分団		33				
第2分団		25	480	199	19	8
第3分団		25	411	171	16	7
第4分団		25	532	253	21	10
第5分団		32	3,881	2,028	121	63
第6分団		20	632	384	32	19
第7分団		17	305	178	18	10
合 計	51	197	16,604	8,627	67	35



## 芦別市の位置並びに面積

位 置		面 積
東 経	北 緯	
142° 11' 35"	43° 30' 56"	865. 02km <sup>2</sup>
広 ぼ う		
東 西	南 北	周 囲
24. 96km	48. 65km	169. 40km

## 人口世帯

平成23年12月31日

地 区 名	世 帯 数	人 口		合 計
		男	女	
本 町	5, 205	4, 590	5, 457	10, 047
旭 町	197	139	158	297
旭 町 油 谷	9	6	8	14
高 根 町	3	2	3	5
福 住 町	22	24	32	56
常 磐 町	177	202	222	424
黄 金 町	53	55	62	117
豊 岡 町	3	3	2	5
新 城 町	115	131	158	289
西 芦 別 町	346	269	301	570
中 の 丘 町	6	6	3	9
緑 泉 町	12	8	11	19
頼 城 町	147	124	118	242
東 頼 城 町	32	27	26	53
川 岸	13	16	16	32
青 木 沢	6	6	6	12
上 芦 別 町	2, 028	1, 770	2, 111	3, 881
野 花 南 町	249	250	273	523
泉	4	5	4	9
合 計	8, 627	7, 633	8, 971	16, 604

## 人口の推移

年別	区分	人口	世帯数
平成12年国調		21,026	8,701
平成13年		20,950	9,682
平成14年		20,500	9,594
平成15年		20,151	9,566
平成16年		19,766	9,484
平成17年国調		18,899	8,222
平成18年		18,766	9,236
平成19年		18,307	9,129
平成20年		17,768	8,984
平成21年		17,369	8,821
平成22年国調		16,628	7,526
平成23年12月31日現在		16,604	8,627

## 市勢に対する消防現勢との比較

区分 市勢	消防職員1人当り	消防団員1人当り	消防車1台当り
人口	325.6	84.3	1,277.2
世帯	169.2	43.8	663.6
面積	16.96km <sup>2</sup>	4.39km <sup>2</sup>	66.54km <sup>2</sup>

## 市一般会計と消防費

(単位 円)

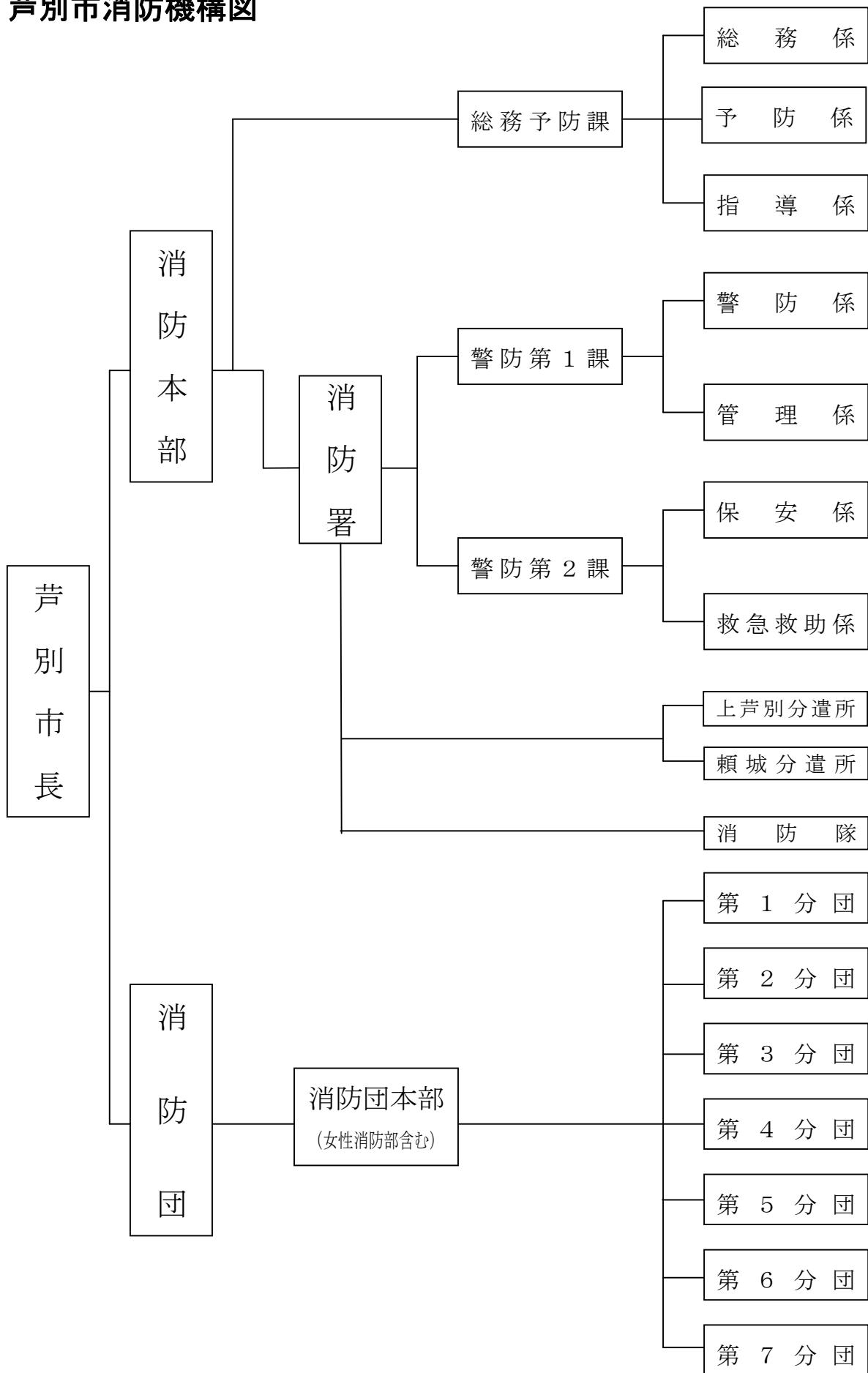
区分 年度別	一般会計(A)	消防費(B)	比率(B/A)%
平成23年度予算額	10,389,000,000	374,277,000	3.60
平成22年度決算額	11,327,508,000	380,323,000	3.36
平成21年度決算額	11,287,328,000	332,872,000	2.95
平成20年度決算額	10,946,231,000	307,439,000	2.81
平成19年度決算額	11,268,731,000	387,281,000	3.44

## 市民と消防費並びに火災損害額

(単位 円)

区分 年度別	消防費 (予算見込み)	火災 損害額	1人当たり		1世帯当たり	
			消防費	火災 損害額	消防費	火災 損害額
平成23年	374,277,000	3,965,000	22,541	239	43,384	460
平成22年	380,323,000	4,326,000	22,872	260	50,535	575
平成21年	332,872,000	14,363,000	19,165	827	37,736	1,628
平成20年	307,439,000	13,058,000	17,303	735	34,221	1,453
平成19年	387,281,000	30,685,000	21,155	1,676	42,423	3,361

## 芦別市消防機構図



## 消防職員数

区分	階級別 司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
定 員		階 級 別 定員 なし					
実 員	1	8	28	7	3	4	51

## 職員配置状況

階級別 職課名		司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
本 部	消 防 長	1						1
	次 長		1					1
	総務予防課		(1) 1	13	3	1		(1) 18
署・分遣所	署 長		1					1
	警防第1課		3	8	1	1	2	15
	警防第2課		2	7	3	1	2	15
	上芦別分遣所		本部・署職員毎日派遣					0
	頬城分遣所		本部・署職員毎日派遣					0
	合 計	1	(1) 8	28	7	3	4	(1) 51

※ ( )内は兼務…配置人数に含めない。

## 職員年齢状況

階級別 年 齢	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳未満							
20歳以上～25歳未満						2	2
25歳以上～30歳未満				3	3	2	8
30歳以上～35歳未満			1	4			5
35歳以上～40歳未満			14				14
40歳以上～45歳未満			4				4
45歳以上～50歳未満			5				5
50歳以上～55歳未満		2	4				6
55歳以上	1	6					7
合 計	1	8	28	7	3	4	51

## 職員勤続年数

階級別 勤続年数	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5年未満						4	4
5年以上～10年未満				2	3		5
10年以上～15年未満			5	5			10
15年以上～20年未満			9				9
20年以上～25年未満			4				4
25年以上～30年未満			6				6
30年以上～35年未満		4	4				8
35年以上	1	4					5
合 計	1	8	28	7	3	4	51

## 歴代消防長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	大西駒太郎	昭和30. 12. 1	昭和34. 12. 1	4. 1	
二代	沢内精治	昭和34. 12. 31	昭和41. 9. 5	6. 10	事務取扱
三代	菅田英太郎	昭和41. 9. 6 昭和45. 10. 1	昭和48. 7. 1	4. 1 2. 9	職務代理者
四代	高島勇太郎	昭和48. 7. 1	昭和51. 4. 16	2. 9	
五代	島田好男	昭和51. 4. 16	昭和52. 4. 1	0. 11	事務取扱
六代	熊谷文一	昭和52. 4. 1	昭和54. 7. 5	2. 3	
七代	石川孚	昭和54. 7. 5	昭和57. 3. 31	2. 8	
八代	松浦威雄	昭和57. 4. 1	昭和60. 1. 16	2. 9	
九代	茶木光義	昭和60. 1. 16	昭和62. 3. 17	2. 2	
十代	武田榮治	昭和62. 3. 17	平成 4. 3. 31	5. 1	
十一代	清澤英雄	平成 4. 4. 1	平成 7. 3. 31	3. 0	
十二代	酒谷孝一	平成 7. 4. 1	平成 9. 3. 31	2. 0	
十三代	千葉昭夫	平成 9. 4. 1	平成11. 6. 30	2. 3	
十四代	小塚芳治	平成11. 7. 1	平成12. 3. 31	0. 9	
十五代	佐々木正昭	平成12. 4. 1	平成14. 6. 30	2. 3	
十六代	森 貞雄	平成14. 7. 1	平成17. 3. 31	2. 9	
十七代	熊谷憲康	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	2. 0	
十八代	市川豊	平成19. 4. 1	平成23. 3. 31	4. 0	
十九代	水尾誠二	平成23. 4. 1			

## 歴代消防本部次長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	原田 最	昭和46. 10. 11	昭和49. 8. 1	2. 10	昭和49. 7. 1署長兼務
二代	柳原次郎	昭和49. 10. 1	昭和53. 8. 17	3. 11	
三代	大関富雄	昭和53. 9. 1	昭和56. 12. 16	3. 4	署長兼務
四代	武田榮治	昭和56. 12. 16 昭和62. 3. 17	平成元. 3. 31	5. 3 2. 1	事務取扱
五代	清澤英雄	平成元. 4. 1	平成4. 3. 31	3. 0	
六代	石川正義	平成4. 4. 1	平成6. 3. 31	2. 0	
七代	佐々木久	平成6. 4. 1	平成11. 3. 31	5. 0	
八代	戸梶宣孝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31	2. 0	
九代	熊谷憲康	平成13. 4. 1	平成17. 3. 31	4. 0	
十代	市川 豊	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	2. 0	
十一代	早松久志	平成19. 4. 1	平成22. 3. 31	3. 0	
十二代	水尾誠二	平成22. 4. 1	平成23. 3. 31	1. 0	
十三代	早松久志	平成23. 4. 1			

## 歴代消防署長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	小山田敬次郎	昭和30. 12. 1	昭和35. 8. 31	4. 9	
二代	島田好男	昭和35. 10. 1	昭和41. 4. 20	5. 7	
三代	菅田英太郎	昭和41. 4. 20	昭和48. 7. 1	7. 3	
四代	原田 最	昭和48. 7. 1	昭和49. 8. 1	1. 1	
五代	柳原次郎	昭和49. 8. 1	昭和53. 9. 1	4. 0	昭和49. 10. 1本部次長兼務
六代	大関富雄	昭和53. 9. 1	昭和56. 12. 16	3. 9	
七代	武田榮治	昭和56. 12. 16	昭和58. 7. 1	1. 7	本部次長兼務
八代	日下勲	昭和58. 7. 1	平成元. 3. 31	5. 9	
九代	佐々木久	平成元. 4. 1	平成11. 3. 31	10. 0	
十代	戸梶宣孝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31	2. 0	本部次長兼務
十一代	熊谷憲康	平成13. 4. 1	平成17. 3. 31	4. 0	本部次長兼務
十二代	市川 豊	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	2. 0	本部次長兼務
十三代	早松久志	平成19. 4. 1	平成23. 3. 31	4. 0	H19~H21まで本部次長兼務
十四代	福士悟	平成23. 4. 1			

## 職員の学校及び自治研修所派遣状況

年別 学校・研修所別		昭和30年 平成18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	合計
消防大学校	上級幹部科	4						4
	研究科	1						1
北海道消防学校	幹部教育	22						22
	初任教育	80				1	2	83
	専科教育	129	2	2	2	4	4	143
北海道自治研修所	法政事務研修	6						6
	監督者研修	5						5
	上級職研修	3						3
	その他	2						2
合計		252	2	2	2	5	6	269

## 職員技能者数

階級別 技術区分	司令長 消防長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大型免許	1	8	27		1	1	38
普通免許			2	7	2	2	13
特殊無線技士資格者	1	6	4	1	1		13
危険物取扱資格者	1	4	14	5	1	1	26
消防設備士		1		1			2
衛生管理者資格者		1	2	1			4
足場組立作業主任者		3	13	1			17
酸素欠乏危険作業主任者		4	3	1			8
小型船舶操縦士		2	10			1	13
小型移動式クレーン		2	11	2			15
玉掛け		2	11	2			15
救急救命士		1	4	2	3	3	13
救急標準課程修了者			9	5			14
救急Ⅱ課程修了者		5	14				19
救急Ⅰ課程修了者	1	2	2				5

## 消防団員定員並びに階級別実員数

分団名	実員 定員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
本部	5	1	3	1					5
女性消防部	15					1	4	10	15
第1分団	35			1	1	3	7	21	33
第2分団	25			1	1	3	5	15	25
第3分団	25			1	1	3	5	15	25
第4分団	25			1	1	3	5	15	25
第5分団	35			1	1	3	6	21	32
第6分団	20			1	1	3	5	10	20
第7分団	20			1	1	3	5	7	17
合計	205	1	3	8	7	22	42	114	197

## 春秋・危険業務従事者叙勲受章者名簿

### 消防本部

受章年度	氏 名	受章名	役 職
昭和45年(春)	大西駒太郎	勲五等瑞宝章	元消防長
平成16年春(危)	佐々木 久	瑞宝单光章	元司令長
平成17年春(危)	伊藤 貢	瑞宝单光章	元司令
平成18年秋(危)	後藤 富衛	瑞宝单光章	元司令補
平成19年春(危)	戸梶 宣孝	瑞宝单光章	元司令長
平成19年春(危)	西 英昭	瑞宝单光章	元司令
平成19年秋(危)	武田 榮治	瑞宝双光章	元消防監
平成20年春(危)	永田 守男	瑞宝单光章	元司令
平成22年秋(危)	熊谷 憲康	瑞宝双光章	元消防監

### 消防団

受章年度	氏 名	受章名	役 職
昭和45年(秋)	川島千代作	勲七等单光旭日章	元分団長
昭和56年(秋)	古田 松雄	勲六等瑞宝章	元副団長
昭和57年(春)	川村千代吉	勲七等单光旭日章	元分団長
昭和63年(春)	今野 正信	勲五等瑞宝章	元副団長
平成 6年(春)	大西 武一	勲五等瑞宝章	元団長
平成 7年(春)	中村 清	勲六等单光旭日章	元副団長
平成 9年(秋)	帰山 和雄	勲六等瑞宝章	元分団長
平成12年(秋)	野寺 雄治	勲六等瑞宝章	元分団長
平成13年(春)	森田 迪夫	勲六等单光旭日章	元副団長
平成15年(秋)	伊藤 研	瑞宝单光章	元分団長
平成18年(春)	小西 修身	瑞宝双光章	元団長
平成18年(秋)	小野寺徳雄	瑞宝单光章	元副団長
平成23年(春)	古田 克志	瑞宝双光章	元団長

## 叙位受章者名簿

### 消防本部

受章年度	氏 名	受章名	役 職
平成14年	日下 勲	従七位	元司令
平成17年	佐々木 久	正七位	元司令長

## 褒章受章者名簿

### 消防団

受章年度	氏 名	受章名	役 職
昭和58年	大西 武一	藍綬褒章	元団長
平成11年	小西 修身	藍綬褒章	元団長
平成20年	中内 紘治	藍綬褒章	副団長
平成21年	岡本 秀夫	藍綬褒章	分団長
平成22年	甲斐 勝博	藍綬褒章	分団長
平成22年	高砂 裕司	藍綬褒章	団長

## 消防庁長官表彰(永年勤続功労章)

### 消防本部

受章年度	氏名	役職
昭和61年	日下 較	司令
平成2年	武田 榮治	消防監
平成9年	佐々木 久	司令長
平成17年	熊谷 憲康	消防監
平成20年	市川 豊	司令長

### 消防団

受章年度	氏名	役職
昭和61年	中村 清	分団長
昭和62年	伊藤 研	副分団長
昭和63年	野寺 雄治	分団長
昭和63年	帰山 和雄	副分団長
平成2年	森田 迪夫	分団長
平成6年	小野寺徳雄	副団長
平成8年	小西 修身	団長
平成9年	松本 豊	副団長
平成13年	古田 克志	副団長
平成15年	野原 彰	分団長
平成16年	中内 紘治	副団長
平成17年	斎藤 勉	分団長
平成18年	岡本 秀夫	分団長
平成19年	須貝 一徳	分団長
平成20年	甲斐 勝博	分団長
平成21年	高砂 裕司	副団長
平成22年	伊藤吾輝夫	分団長

## 表彰状況

区分	種別	消防 庁長官		北海 道知事		市 長		全国 消防 長 会 長		日本 消防 協 会 会 長		消防 協 会 会 長		北海 道		支 部 空 知 地 方		支 部 空 知 地 方		中 空 知 分 会 分 會 長		團 長 表 彰		合 計	
		該当区分	職	団	職	団	団	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団
被 表 彰 者 数			3	3	11	4			6	8	24	1	13	8	8	12	77								
表 彰 区 分	特別功績章											2													2
	永年勤続退団者		3																						3
	功 績 章									2	3		1	8			2	12							
	永年勤続功労章																								
	功 劳 章						4											8		12					
	精 繢 章								1																1
	善 行 者																								
	勤 続 章																								
勤 続 章 内 訳	5年以上															1	8			1	8				
	10年以上					7				3	6							3	13						
	15年以上															4									4
	20年以上			3					3	11										6	11				
	25年以上																								
	30年以上				4				5	2														11	
	35年以上																								
	40年以上																								

## 消防団幹部名

階級別 所属	団長	副団長	分団長	副分団長
団本部	高砂 裕司	中内 紘治	伊藤 吾輝夫	
		土山 孝一		
		斎藤 勉		
第1分団			橋浦 正広	大杉 峰生
第2分団			田川 吉栄	小林 英二
第3分団			川上 義啓	西澤 栄次
第4分団			脇島 真一	水島 康夫
第5分団			岡本 秀夫	小野 英開
第6分団			坂下 明治	石田 敏昭
第7分団			川村 正洋	泉田 英利

## 消防団員勤続年数

階級別 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満							6	6
1年以上 5年未満						1	39	40
5年 " 10年 "						2	34	36
10年 " 15年 "						11	18	29
15年 " 20年 "				2	4	12	8	26
20年 " 25年 "			1		5	12	5	23
25年 " 30年 "			2	2	5	1	1	11
30年 " 35年 "		1	1		5	3	2	12
35年 " 40年 "	1	1	2	2	3		1	10
40年以上		1	2	1				4
合計	1	3	8	7	22	42	114	197

## 消防団員年齢状況

階級別 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満								0
20歳以上25歳未満							5	5
25歳 " 30歳 "							13	13
30歳 " 35歳 "						1	23	24
35歳 " 40歳 "					1	5	25	31
40歳 " 45歳 "					1	6	13	20
45歳 " 50歳 "			1		4	7	13	25
50歳 " 55歳 "				2	2	8	11	23
55歳 " 60歳 "			1	3	5	9	8	26
60歳 " 65歳 "	1		4	1	8	5	1	20
65歳以上		3	2	1	1	1	2	10
合計	1	3	8	7	22	42	114	197

## 任免状況

区分 所属	採用	退職	市異動		昇任等
			増	減	
消防本部・署	2	1			5
消防団	団本部	1			
	第1分団	2	3		3
	第2分団	1	1		3
	第3分団	1	1		4
	第4分団				
	第5分団	1	1		
	第6分団				
	第7分団				
合計		8	7	0	15

# 消防施設

## 消防施設（建物）一覧

区分 所管	所在 地	構 造	竣 工 年	延 面 積	敷 地 面 積
本 部 ・ 署 第 1 分 団	芦別市北1条 東1丁目3番地	鉄筋 コンクリート	S 4 4年	7 8 0 . 0 0	6.528.00
第 2 分 团	芦別市常磐町 331番地4	木造 モルタル	S 4 1年	2 2 7 . 1 8	403.15
第 3 分 团	芦別市新城町 186番地1	木造 モルタル	S 4 8年	1 3 9 . 7 3	326.44
第 4 分 团	芦別市野花南町 977番地18	木造 モルタル	S 5 0年	1 4 3 . 6 4	390.11
上芦別分遣所 第 5 分 団	芦別市上芦別町 518番地14	木造 モルタル	S 5 4年	1 9 7 . 6 4	623.73
第 6 分 团	芦別市西芦別町 81番地1	木造 モルタル	S 5 2年	1 9 7 . 6 4	1,001.76
頬城分遣所 第 7 分 团	芦別市頬城町 4番地	木造 モルタル	S 5 3年	1 9 7 . 6 4	696.50

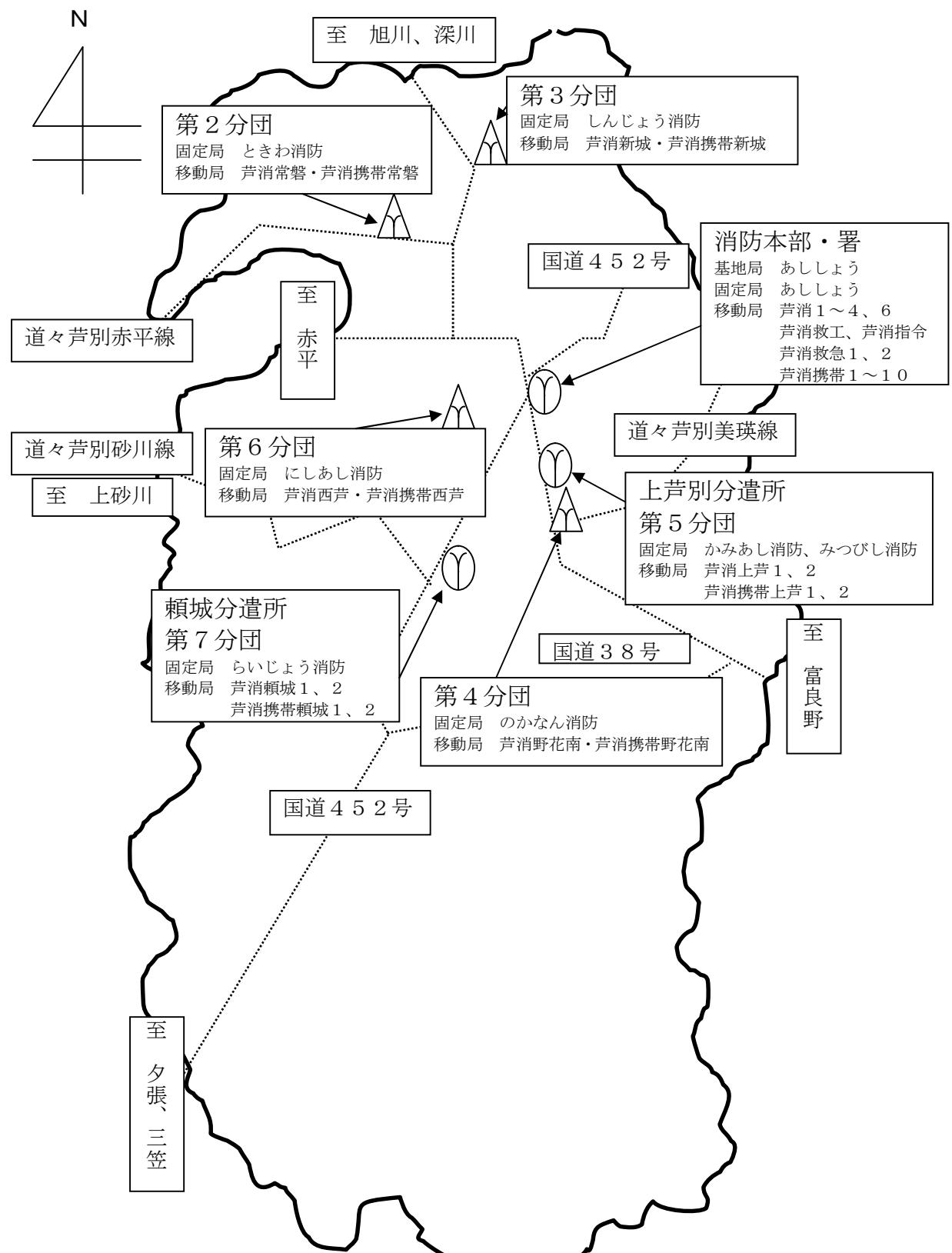
## 消防緊急通信指令装置回線構成

名 称	容 量	実 装	単 位	記 事
1 1 9 番 受 付	6	4	回 線	
携 帯 1 1 9 番 受 付	4	4	回 線	携帯会社 4 社、ひかり電話
ソフトバンクテレコム 1 1 9 番受付	2	2	回 線	
指 令 回 線	3	2	回 線	
局 線	4	2	回 線	
内 線	2	2	回 線	
録 音 回 路	2	2	回 線	1 1 7 番時報同時録音
放 送 回 路	1	1	回 線	
テレオート・サービス回路	1	1	回 線	3回線
時 計 表 示	1	1	回 線	
病院車両表示回線	4 0	4 0	回 線	
F A X 回 線	1	1	回 線	

## 無線局

名 称	無 線 通 信 施 設	
呼 出 名 称	基地局 あししょう 固定局 あししょう ときわしょうぼう しんじょうしょうぼう かみあししょうぼう にしあししょうぼう みつびし ょうぼう のかなんしょうぼう らいじょうしょうぼう	
周 波 数 (MHz)	消防波 1 4 9 . 6 3	
	救急波 1 4 3 . 7 6	1 4 7 . 7 6
	共通波 1 5 0 . 7 3	
通 信 方 式	消防波・共通波	单信方式
	救急波	複信方式
無 線 局 数	基地局 1	固定局 8
	陸上移動局 3 5 (車載 1 7 携帯 1 8 )	
電 波 方 式	V H F F 3 E	1 6 K O F 2 D
空 中 線 電 力	基地局 1 0 W	陸上移動局 (車載 1 0 W ・ 携帯 5 W 、 1 W )
	固定局 0 、 0 2 W 、 2 W 、 5 W 、 1 0 W	
受 令 機 数	5 8	(職員非常招集用)

## 消防無線電話の配置及び呼出し名称



## 消防緊急通信指令装置系統図

市役所代表局線  
(22-2111)

消防署代表局線  
(22-3106)  
FAX23-1960

市庁舎交換機

無線式サイレン吹鳴装置  
基地局(あししよう)  
消防本部・署、第1分団



指  
令  
台

制  
御  
部

電源装置

表示盤 40回線

ヘルプセンター

切替

非常受付電話機

119番回線

時刻(NTT)

切替

NTT局線及び  
交換機内線

指令回線

内線

火災案内装置

案内局線  
(代) 22-3949

携帯 119番受付

携帯電話

ソフトバンクテレコム 119番受付



第2分団  
(常磐町)  
Tel 22-3300

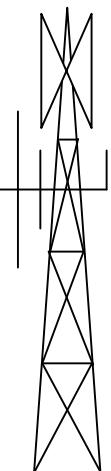
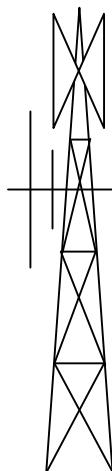
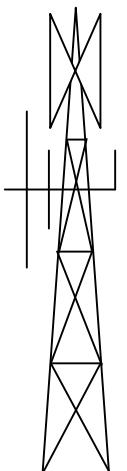
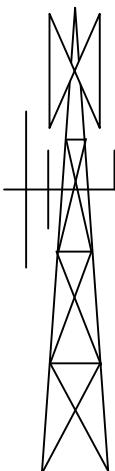
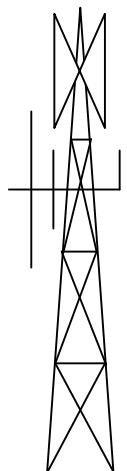
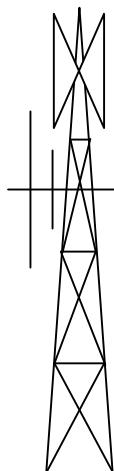
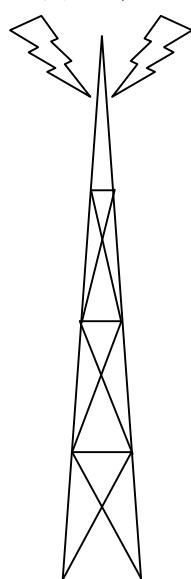
第3分団  
(新城町)  
Tel 22-2034

第4分団  
(野花南町)  
Tel 22-3344

上芦別分遣所第5分団  
(上芦別町)  
Tel 22-8790

第6分団  
(西芦別町)  
Tel 22-7028

頬城町  
頬城分遣所第7分団  
Tel 25-5009



## 車両現勢一覧表

区分 所属	車名	型式	種別	年式	車令	ポンプ		備考
						艤装会社	級別	
消 防 署	日野	KL-FQ 1KRHA	小型動力ポンプ 付水槽車	平成 12年	11	北海道 モリタ	B-3	II型 10,000㍑
	日野	U-FD 3HGAA	水槽付 ポンプ車	平成 4年	19	北海道 モリタ	A-2	水槽 2,000㍑
	日野	BDG-GX 7JGWA	救助工作車	平成 20年	3			小型動力ポンプ クレーン積載
	トヨタ	CBF-TRH 226S	救急車	平成 22年	1			高規格車
	トヨタ	TC-VCH 38S	救急車	平成 15年	8			高規格車
	トヨタ	E-GS 130G	指令車	平成 5年	18			
	トヨタ	U-LH 129S	広報車	平成 2年	21			北海道農業協同組 合連合会寄贈
第1分団	トヨタ	BDG-XZU 378	ポンプ車	平成 23年	0	日本機械	A-2	小型動力 ポンプ積載
	三菱	KK-FG 53ED	ポンプ車	平成 12年	11	日本機械	A-1	小型動力 ポンプ積載 日本損害保険協 会寄贈
第2分団	三菱	U-FG 337E	小型動力ポンプ 付積載車	平成 5年	18	北海道 モリタ	B-2	小型動力 ポンプ積載
第3分団	三菱	U-FG 337C	ポンプ車	平成 3年	20	北海道 モリタ	A-2	小型動力 ポンプ積載
第4分団	いすゞ	U-FRR 32F	水槽付ポンプ車	平成 2年	21	北海道 モリタ	A-2	水槽 2,000㍑ 小型動力 ポンプ積載
第5分団	いすゞ	P-FRS 35G3J	災害対応特殊 水槽付ポンプ車	平成 17年	6	日本機械	A-2	水槽 1,500㍑
	三菱	KC-FG 538D	ポンプ車	平成 8年	15	北海道 モリタ	A-2	小型動力 ポンプ積載
第6分団	トヨタ	BDG-XZU 378	ポンプ車	平成 22年	1	日本機械	A-2	小型動力 ポンプ積載
第7分団	いすゞ	P-FRR 12FAV	水槽付ポンプ車	昭和 63年	23	日本機械	A-2	水槽 2,000㍑ 日本損害保険協 会寄贈
	いすゞ	K-TLD 44	ポンプ車	昭和 55年	31	北海道 モリタ	B-1	小型動力 ポンプ積載

## 年間車両使用状況

区分 車名	火災出動	救急出動	救助出動	風水害等の災害	演習訓練	訓練指導	警防調査	火災調査	特別警戒	遭難	予防査察	誤報	その他	延回数	消費燃料	走行杆数
署 1 号車	13				13								11	37	271	448
署 2 号車	13		1		4		1						11	30	174	285
署救助工作車	5		17		15								10	47	514	1272
署救急 1 号車		682			1								29	712	911	13538
署救急 2 号車		58			2								12	72	369	1469
署 指令 車	6		5		7	5		4	36		64		251	378	795	6142
署 広 報 車	6		7	1	10	2	30	12	3		29		431	531	1074	10411
第 1 分団 1 号車	1				5		1		18				4	29	86	437
第 1 分団 2 号車	1		1		7		21		7		1		19	57	250	1015
第 2 分団 車					12	1	4		16				2	35	92	539
第 3 分団 車	1				12				20				3	36	112	810
第 4 分団 車	1				8				23				4	36	150	621
第 5 分団 1 号車	3				4		34		35				13	89	400	1728
第 5 分団 2 号車	3				5				30				3	41	220	481
第 6 分団 車	1				8		36		21				2	68	94	709
第 7 分団 1 号車	1				1		18		43				20	83	292	1617
第 7 分団 2 号車	1				6		1		20	1			7	36	112	734
計	56	740	31	1	120	8	146	16	272	1	94		832	2317	6102	42256

※ 救急出動として市立芦別病院救急車で 3 件出動している。

※ 救急 1 号車で救急出動中に重複した事案 1 件あり。

## 小型動力ポンプ現勢一覧表

区分 所属	名 称	型式	馬力	購 入 年 月	経過年数	級 別
消防署	トーハツ	V20ES	15	H 15. 8	8	C-1
第1分団	トーハツ	V20ES	15	H 23. 5	0	C-1
第1分団	トーハツ	V20DS	15	H 12. 11	11	C-1
第2分団	トーハツ	V20BS	15	H 5. 11	18	C-1
第3分団	ラビット	P381SV	15	H 12. 5	11	C-1
第4分団	トーハツ	V20ES	15	H 14. 6	9	C-1
第5分団	トーハツ	V20CS	15	H 8. 11	15	C-1
第6分団	トーハツ	V20ES	15	H 22. 10	1	C-1
第7分団	ラビット	P303B	13	S 54. 10	32	C-1

## ホース配置状況

種別 所属	50mmホース	65mmホース	計
消防署			
第1分団	47	221	268
第2分団		40	40
第3分団		40	40
第4分団		40	40
第5分団	8	72	80
第6分団		40	40
第7分団	6	74	80
計	61	527	588

## 過去5年間に整備した主要消防施設

施設名 年度別	消防自動車	小型動力ポンプ	消防用無線機 通信施設	消防水利
19年度	救助工作車		携帯用無線機 2台	
20年度				消火栓 1基
21年度				消火栓 1基
22年度	高規格救急車 6分団ポンプ車	トーハツ V20ES 1台		消火栓 1基
23年度	1分団ポンプ車	トーハツ V20ES 1台	携帯用無線機 3台	消火栓 2基
計	4台	2台	5台	消火栓 5基

## 全市水利状況

区分 地区別	消火栓		小計	防火水槽		小計	合計
	双口	单口		40m³ 以上	40m³ 未満		
本町地区 第1分団	6	109	115	50	6	56	171
常磐町地区 第2分団		2	2	3	2	5	7
新城町地区 第3分団		6	6	2		2	8
野花南町地区 第4分団		7	7	1	1	2	9
上芦別町地区 第5分団		66	66	22	4	26	92
西芦別町地区 第6分団		21	21	7	5	12	33
頬城町地区 第7分団		17	17	7	2	9	26
合計	6	228	234	92	20	112	346

# 火災統計・気象

## 火災の概況

区分 原因別	件 数	火 灾 種 别					焼 损 棟 数	り 灾		死傷者		焼 损 床面積 (m <sup>2</sup> )	焼 损 表面積 (m <sup>2</sup> )	損害額 (千円)				
		建 物						林 野	車 両	そ の 他	世 帯 数	人 員 数	死 者 数	負 傷 者 数				
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計												
23年	10		1		6	7		1	2	7	3	4		1	30		3,965	
22年	8	2	1		1	4		2	2	5	3	5	1	3	147		4,326	
比 較	2	△ 2	0		5	3	△ 1	0	2	0	△ 1	△ 1	△ 2	△ 117			△ 361	

※ △は前年度比較の減。

※ ( )は、林野火災焼損面積。(単位:a)

## 過去5年間の出火原因調べ

原因 年別	タ バ コ	コ ン ロ	ス ト ー ブ  、煙 突	電 気  、配 線	火 入 れ  、ゴ ミ 焼 た き 火 、	風 呂  、カ マ ド	燒 却  炉	灯 火	溶 接 の 火 花	穀 物 乾 燥 機	內 燃 機 関	排 氣 管	放 火  、放 火 の 疑 い	不 明	出 火 率	合 計	
	23年	2	1		1					1			3	1	1	6	10
22年		1	1	1									3	2	4.7	8	
21年					1	1		1					1	4	2	5.6	10
20年	1	1	2	2	1		1		1				1	5	4	10.5	19
19年	1		1	4							1	1		4	6.4	12	

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

## 月別火災発生状況

区分 月別	件 数	火 灾 種 别						焼 損 棟 数	り 灾		死傷者		焼 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	焼 損 表 面 積 (m <sup>2</sup> )	損 害 額 (千円)	
		建 物					そ の 他		世 帯 数	人 員	死 者 数	負 傷 者 数				
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計										
1																
2	1		1			1			1	1	2		1	30	1,934	
3	1				1	1			1	1	1				236	
4	1							1								
5																
6	1							1							1,059	
7	1								1							
8	1				1	1				1	1	1			2	
9	1				1	1				1					734	
10																
11	3				3	3				3						
12																
合 計	10		1		6	7		1	2	7	3	4		1	30	3,965

## 時間別火災発生状況

区分 時間別	件 数	火 災 種 别					焼 損 棟 数	り 災		死傷者		焼 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	焼 損 表 面 積 (m <sup>2</sup> )	損 害 額 (千円)				
		建 物						世 帯 数	人 員	死 者 数	負 傷 者 数							
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計												
0~1																		
1~2																		
2~3																		
3~4																		
4~5																		
5~6	1				1	1			1					734				
6~7																		
7~8																		
8~9																		
9~10	3		1		1	2	1	2	2	3	1	30		2,995				
10~11																		
11~12																		
12~13																		
13~14																		
14~15																		
15~16	1						1											
16~17																		
17~18	1				1	1		1	1	1				236				
18~19	1							1										
19~20																		
20~21																		
21~22																		
22~23																		
23~24																		
不 明	3					3	3		3	4	1	30		3,965				
合 計	10		1		6	7	1	2	7	3	4	1	30					

※ ( )は、林野火災焼損面積。(単位:a)

## 管轄区域別火災発生状況

年別 地区別		平成 23 年 ( A )		平成 22 年 ( B )		増減 ( A )-( B )	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
第1分団	本町	2	0	2	212	0	△ 212
	旭町	2	236			2	236
	高根町						
	旭町油谷						
第2分団	常磐町			2	175	△ 2	△ 175
	福住町						
第3分団	新城町			1	400	△ 1	△ 400
	豊岡町						
	黄金町	1	734			1	734
第4分団	野花南町	1	0			1	0
	泉						
第5分団	上芦別町	1	1,934	3	3,539	△ 2	△ 1,605
第6分団	西芦別町	2	2			2	2
	中の丘町						
	東頬城町						
第7分団	頬城町						
	緑泉町						
	川岸奥芦別	1	1,059			1	1,059
合計		10	3,965	8	4,326	2	△ 361

## 昭和30年以降の火災発生状況

区分 年別	火 災 件 数	焼損床面積 (a) m <sup>2</sup>	焼損表面積 (m <sup>2</sup> )	損 害 額 (千円)	市民1人 当たり 損 害 額 (円)	1世帯 当たり 損 害 額 (円)	火事騒 件 数	死 者
30	28	3,047		36,346	501	2,686	3	
31	50	4,441		146,879	2,157	10,983	9	
32	32	1,318		13,579	182	986	17	2
33	22	1,345		7,422	98	528	25	
34	28	2,636		22,126	295	1,584	23	
35	43	3,111		34,219	466	2,468	17	2
36	35	3,845		55,938	783	4,147	24	2
37	21	3,324		17,367	248	1,276	36	1
38	36	2,165		17,019	255	1,271	42	
39	22	5,909		105,709	1,765	8,509	41	
40	22	3,500		40,720	781	3,164	43	4
41	19	4,502		56,203	991	4,533	32	
42	22	3,638		34,072	622	2,783	30	1
43	22	2,457		22,142	423	1,864	37	
44	24	3,923		87,877	1,924	6,840	23	2
45	28	4,164		51,877	1,188	4,103	26	
46	28	4,165		39,932	931	3,159	26	1
47	11	232		63,980	1,578	5,233	28	
48	16	1,608		111,381	2,856	9,275	27	
49	20	(15) 3,065		85,352	2,245	7,199	13	2
50	11	1,269		57,965	1,560	4,948	9	1
51	9	(526) 1,166		37,597	1,029	3,213	6	
52	8	1,025		31,048	862	2,666	12	
53	14	(144) 881		31,828	903	2,756	7	1
54	6	706		24,226	708	2,103	11	1
55	13	2,739		84,275	2,528	7,395	14	2
56	8	596		14,485	443	1,282	4	1
57	9	707		23,592	738	2,098	23	1
58	8	(117) 378		17,123	548	1,539	30	
59	17	(422) 1,159		72,991	2,365	6,556	30	2
60	12	582		33,073	1,084	2,967	24	1
61	12	1,088		56,216	1,864	5,034	10	6
62	10	823		26,473	929	2,469	15	2
63	8	642		43,225	1,582	4,129	13	
平成元	16	(920) 2,451		45,964	1,748	4,490	13	
2	10	(36) 186		4,601	179	451	7	
3	12	2,085		181,793	7,238	17,960	13	1
4	14	351		12,328	501	1,225	3	

区 分 年 別	火 災 件 数	焼損床面積 (a) m <sup>2</sup>	焼損表面積 (m <sup>2</sup> )	損 害 額 (千円)	市民 1 人当た り損 害 額 (円)	1 世 帯当た り損 害 額 (円)	火事騒 件 数	死 者
5	12	(87) 1,416		115,758	4,825	11,550	4	
6	8	(4) 23		8,010	339	802	4	
7	21	444	23	24,579	1,059	2,470		
8	16	528	5	40,645	1,782	4,122		2
9	13	148		8,416	376	857		
10	21	(97) 300	30	37,955	1,722	3,869		2
11	12	453		28,990	1,334	2,970		
12	12	(16) 218	44	18,521	869	1,906		
13	19	(7) 210	7	23,472	1,120	2,424		
14	17	(7) 62	29	9,308	454	970		1
15	14	(4) 174	8	21,051	1,045	2201		2
16	10	487	35	26,538	1,343	2,798		
17	10	74	9	2,735	142	291		
18	18	(9) 108	4	3,170	169	343		1
19	12	879	16	30,685	1,649	3,338		2
20	19	(26) 338	86	13,058	722	1,442		2
21	10	201	42	14,363	810	1,612		
22	8	147		4,326	255	495		1
23	10	30		3,965	239	460		

※ 焼損表面積は、平成7年1月1日改正による新区分。( )内は林野火災の焼損面積。

## 月別火災等出動状況

種別 月別	火 災 件 数	そ の 他 件 数	出動回数		出動台数		出動人員		放水台数		使 用 水 利				
			署	団	署	団	署	団	署	団	タンク	消火栓	防火水槽	河川・その他	中継
1		2	2		2		7								
2	1	1	2	1	6	2	29	19	2	2	2	2			
3	1	1	2		7		27								
4	1	3	4	1	8	1	41	14	1	1	2				
5		3	3		6		22								
6	1	3	4		8		27								
7	1	3	4	1	7	2	21	10							
8	1	1	2	2	6	5	24	17	2		2				
9	1	1	2	1	5	1	22	5	2		2				
10		1	1		2	2	7	6							
11		1	1		1		2								
12		2	2		2		6								
計	7	22	29	6	60	13	235	71	7	3	8	2			

※ 火災件数については事後聞知含む

## 風向の状況（最大風速時）

(単位　日)

北	15	南 東	38	西	11
北 北 東	3	南 南 東	15	西 北 西	69
北 東	0	南	26	北 西	95
東 北 東	0	南 南 西	18	北 北 西	36
東	1	南 西	12	無 風	0
東 南 東	18	西 南 西	8	計	365

## 過去 10 年間における気象の極値

	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日最大降水量 (mm)	日最大降雪量 (cm)
14年	31.8 (9月2日)	-20.2 (1月20日)	43 (10月29日)	26 (2月18日)
15年	30.7 (8月5日)	-23.0 (1月15日)	48 (8月9日)	32 (1月31日)
16年	34.4 (7月30日)	-18.9 (1月25日)	49 (6月10日)	22 (12月5日)
17年	32.2 (6月23日) (8月11日)	-20.5 (1月26日)	65 (9月7日)	36 (1月30日)
18年	33.5 (8月9日)	-17.8 (1月23日)	79 (8月18日)	30 (1月30日)
19年	35.7 (8月13日)	-16 (2月10日)	46 (9月7日)	23 (11月21日)
20年	34.0 (7月6日)	-22.4 (2月25日)	33 (8月3日)	40 (11月20日)
21年	33.1 (8月11日)	-16.9 (12月17日)	58.5 (7月19日)	26 (12月14日)
22年	34.3 (6月28日)	-17.2 (2月4日)	52 (8月24日)	27 (11月29日)
23年	33.5 (8月8日)	-18 (1月28日)	95 (7月14日)	41 (12月25日)

## 月別気象状況

### 上半期

月別 種別		1	2	3	4	5	6
天 氣	晴れの日数	10	13	13	8	11	9
	曇りの日数	12	13	16	12	8	13
	雨の日数	0	0	1	8	12	8
	雪の日数	9	2	1	2	0	0
日 照 時 間		65.2	120.6	158.2	159.2	155.7	138.9
風 速	最大(m/秒)	7.5	6.6	8.4	10.1	13.2	6.3
	最大風速の日(日)	6	12	14	23	13	2
	平均風速5m以上日の日数	0	0	0	1	1	0
	平均風速(m/秒)	1.60	1.9	2.1	2.6	2.6	2
最 多 風 速		北西	北西	西北西	北西	北西	北西
降 水 量		64.5	40.5	43	122	88	85.5
雪	新積雪	144	103	115	21	0	0
	最大積雪値	19	13	18	13	0	0
気 温	最高	0.6	9.6	9.8	18.6	25.1	29.9
	最高気温の日	1	24	31	15	28	21
	最低	-18	-14.6	-12.9	-7.5	-0.5	4.8
	最低気温の日	28	6	10	4	6	1
9時の平均気温		-7.3	-4.1	-1.5	5.2	10.3	16.7
湿 度	最小湿度	31	24	16	7	6	16
	最小湿度の日	27	28	20	20	12	17
	湿度の平均	72	66.4	62.4	59.5	63.5	63.6
	実効湿度の平均	72.9	66.4	63.6	59.8	63.8	63.4

### 下半期

月別 種別		7	8	9	10	11	12	合計 (平均)
天 氣	晴れの日数	12	18	8	12	8	7	129
	曇りの日数	12	8	12	7	9	11	133
	雨の日数	7	5	10	12	7	0	70
	雪の日数	0	0	0	0	6	13	33
日 照 時 間		170	191.1	115.6	123.8	76.3	62.7	1537.3
風 速	最大(m/秒)	9.8	6.8	8.9	8.3	9.3	8.2	
	最大風速の日(日)	4	12	3	2	23	3	
	平均風速5m以上日の日数	0	0	1	0	0	0	
	平均風速(m/秒)	2.1	1.8	2.1	2.1	1.6	1.8	2.0
最 多 風 速		北西	北西	北西	西北西	北西	西北西	
降 水 量		182.5	144	271	119.5	101.5	107.5	1369.5
雪	新積雪	0	0	0	0	79	209	671
	最大積雪値	0	0	0	0	24	41	
気 温	最高	32.3	33.5	31.8	20.6	16.6	2.8	
	最高気温の日	29	8	1	16	2	14	
	最低	11	13.7	7.4	0.7	-8.6	-15.8	
	最低気温の日	21	13	25・29	3・20	21	22	
9時の平均気温		21.6	22.1	17.4	9.4	2.9	-5	7.3
湿 度	最小湿度	22	22	18	20	19	32	
	最小湿度の日	26	13	14	20	3	2	
	湿度の平均	68.1	64.8	68.7	64.8	71.6	69.9	66.3
	実効湿度の平均	68.3	64.5	68.8	65.2	70.7	70.3	66.5

9：00観測

**急救·救助**

## 救急活動総括表

種 別	総 計	月 平 均	一 日 平 均	一 回 平 均
出 動 件 数	744 件	62.0 件	2.0 件	
不 搬 送 件 数	58 件	4.8 件		
搬 送 人 員	689 人	57.4 人	1.9 人	
出 動 人 員	2,343 人			
走 行 精 数	13,974 km			18.8km
現 場 到 着 時 間	最 短 2 分	最 長 58 分		6.2 分
収 容 所 要 時 間	最 短 12 分	最 長 145 分		28.3 分

## 月別出動件数

事故種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
火 災													
自 然 災 害													
水 難 事 故					1	1							2
交 通 事 故	4	1		1	3	2	4	5	3	3	3	3	32
労 働 災 害		1						1					2
運 動 競 技	1				2				1	1	1		6
一 般 負 傷	6	8	9	6	13	6	10	7	11	7	10	10	103
加 害										1	1		2
自 損 行 為					1	1	2		1		1	2	8
急 病	50	35	31	40	47	40	39	48	42	46	52	35	505
そ の 他	4	3	8	7	7	6	7	9	5	11	10	7	84
計	65	48	48	54	74	56	62	70	63	69	78	57	744

## 時間別出動件数

事故種別 時間	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0 ~ 2				1			5	1		20	3	30
2 ~ 4				1			6			18	6	31
4 ~ 6							2		2	20	2	26
6 ~ 8				2			3		2	36	2	45
8 ~ 10				6	1		16			62	10	95
10 ~ 12			1	4	1	5	15		1	56	20	103
12 ~ 14				3			13	1		53	10	80
14 ~ 16			1	4		1	15		2	52	9	84
16 ~ 18				5			10			58	8	81
18 ~ 20				6			11		1	48	5	71
20 ~ 22							4			50	7	61
22 ~ 24							3			32	2	37
計			2	32	2	6	103	2	8	505	84	744

## 町内別出動件数

事故種別 町内別	本町 (高根)	上芦別 (啓南)	西芦別 (中の丘) (東頬城)	頬城 (緑泉)	野花南 (滝里)	新城 (豊岡) (黄金)	常磐 (福住)	旭 (油谷)	管外	計
火災										
自然災害										
水難事故	1			1						2
交通事故	12	4		9	3		2	1	1	32
労働災害	1					1				2
運動競技		5						1		6
一般負傷	63	27	1	3	3		1	5		103
加害	2									2
自損行為	4	2		2						8
急病	284	118	22	15	17	8	7	34		505
その他	76	3		1	1			3		84
計	443	159	23	31	24	9	10	44	1	744

## 管外搬送（転院・転送・直接搬送）出動件数

病院所在地		転院	転送	直接搬送	計
1	滝川市	22	1	43	66
2	砂川市	32		44	76
3	札幌市			1	1
4	旭川市	5		3	8
5	赤平市	1		8	9
6	富良野市			7	7
7	札幌市			2	2
計		60	1	108	169

## 年齢区分別搬送人員数調

年齢区分 事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
火災						
自然災害						
水難事故						
交通事故			5	11	10	26
労働災害				1	1	2
運動競技			6			6
一般負傷	4	9	13	72	98	
加害			2			2
自損行為		1	3	2	6	
急病	5	6	124	345	480	
その他		1	10	58	69	
計	9	28	164	488	689	

新生児 生後28日未満の者  
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者  
 少年 満7歳以上満18歳未満の者  
 成人 満18歳以上満65歳未満の者  
 高齢者 満65歳以上の者

## 傷病程度別搬送人員

傷病程度	事故種別	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
		災	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他	
死 亡										14	1	15	
重 症					1			26		2	112	14	155
中 等 症					7	2	2	23		3	148	42	227
軽 症					18		4	49	2	1	206	12	292
そ の 他													0
計		0	0	0	26	2	6	98	2	6	480	69	689

## 搬送人員のうち救急隊員の行った応急処置

事故種別	搬送人員	応急処置員	止	固	人	心	酸	除	気	※特	定	行	為	そ	の	他	計
			搬	送	急	搬	肺	素	道	道	氣	保	脈	行	為	保	被
急 病	480	479	1	1	3	15	119	1	19	(10)	6	3	1		1213	1382	
交通事故	26	25	2	15			11						1	3	64	96	
一般負傷	98	98	8	9			6						2	14	201	240	
そ の 他	85	85	1	8		1	31		1	(1)			5	1	207	255	
計	689	687	12	33	3	16	167	1	20	(11)	6	3	9	18	1685	1973	

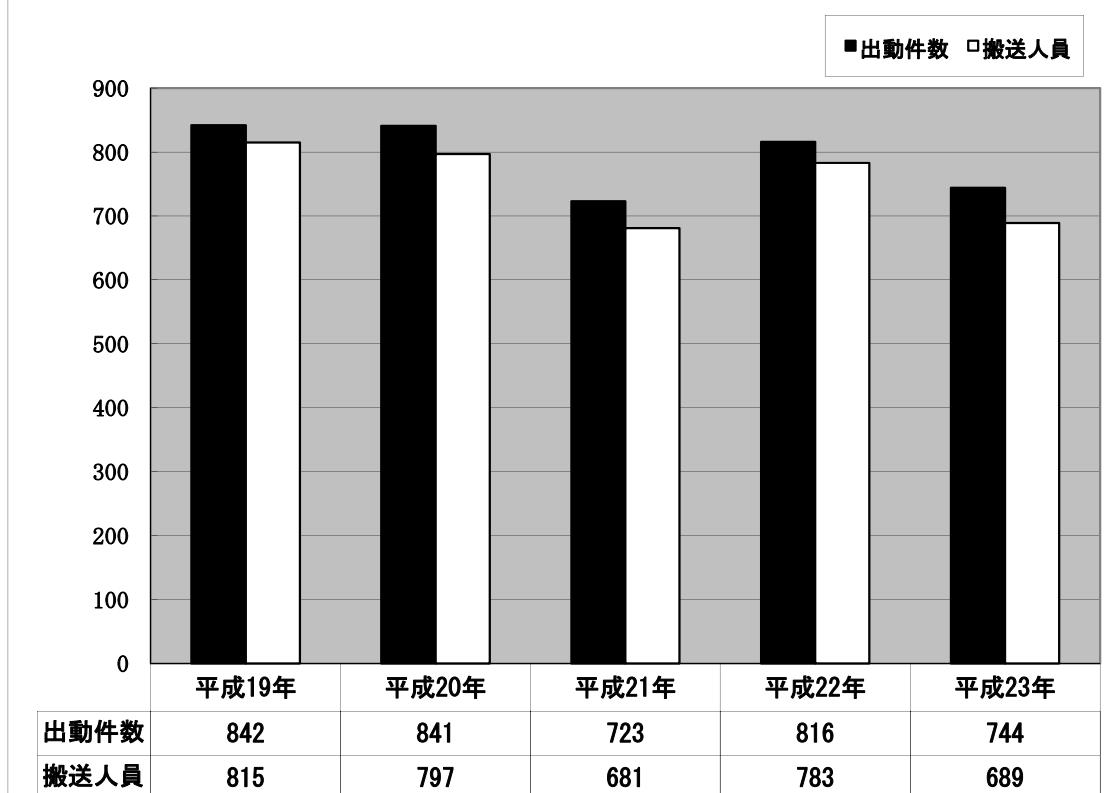
※特定行為の気道確保件数11件は気道確保件数の20件に含む。

- ・救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち
- 気道確保～ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保
- 除細動～半自動式除細動器による除細動
- 静脈路確保～輸液及び薬剤を用いるために行う静脈路の確保
- 薬剤投与～静脈路確保後に行うアドレナリンの投与

## 収容所要時間

時間別搬送人員 事故種別	覚知から医療機関に収容するのに要した時間別搬送人員					
	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分以上	計
急 病	0	81	252	125	22	480
交 通 事 故	0	4	7	10	5	26
一 般 負 傷	0	27	44	21	6	98
そ の 他	0	9	6	63	7	85
計	0	121	309	219	40	689

過去5年間の出動件数及び搬送人員の推移



## 救助出動及び活動状況

区分 事故種別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その 他の 事 故	計
出動件数		5	2						8	15
活動件数			1						5	6
救助人員			1						5	6
出動台数		12	6						25	43
活動台数			1						16	17
出動人員		47	23						108	178
活動人員			2						68	70

## 救急講習実施状況

講習種別	講習回数	延べ実施人数
一般講習	12回	283人
普通救命講習	7回	111人

# 预防危险物

## 関係法令による処理件数

区分	種 別	処 理 件 数	
		受 理 件 数	備 考
法第 7条	建 築 確 認 申 請	4 0	
	計	4 0	
市 火 災 予 防 條 例	避 難 訓 練 実 施 報 告	8 7	消火、通報訓練含む
	劇場等の裸火使用危険物品持込申請		
	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	8	
	ボイラー・厨房設備等の設置届出	5	
	変電・燃料電池発電・発電・蓄電池設置届出	2	
	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 の 届 出	8 0	
	煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届 出	1 1	
	催 物 開 催 届 出	7	
	道 路 工 事 届 出	6	
	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届 出	3	
	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届 出		
	計	2 0 9	
危 険 物 関 係	設 置 許 可 申 請		
	変 更 許 可 申 請	6	
	設 置 完 成 檢 查 申 請		
	変 更 完 成 檢 查 申 請	6	
	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 許 可 申 請	1	
	仮 使 用 承 認 申 請	2	
	地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出		
	廢 止 届 出	3	
	保 安 監 督 者 選 任 (解 任) 届 出	3	
	品 名 、 数 量 変 更 届 出		
	施 設 讓 渡 引 渡 届 出	1	
	使 用 休 止 ・ 再 開 届 出	1	
	軽 微 な 変 更 工 事 届 出	4	
	設 置 者 住 所 等 の 変 更 届 出	2 1	
	計	4 8	
消 防 法 関 係	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	5	
	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	1 8	
	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告	2 7 0	
	防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出	2 9	
	消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出	2 8	
	圧縮アセチレンガス貯蔵・取扱い開始届出	2	
	計	3 5 2	
そ の 他	り 災 証 明 交 付 申 請	2	
	道 路 法 第 4 6 条 に 基 づ く 通 知	2 0	
	集 合 煙 突 検 査 申 請		
	集 合 煙 突 検 査 証 明 申 請		
	計	2 2	
	合 计	6 7 1	

## 構造別、工事別、建築同意状況

構 造 別	耐 火 構 造													
	準 耐 火 構 造			1		1		1		1		4		
	そ の 他	1	1	2	10	6	5	3	3	3	2	36	21	
	新 築	1	1	3	7	6	4	2	1	3		28	15	
工 事 別	増 築				3	1	1	2	2		3	12	6	
	改 築													
	用 途 変 更													
	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計 通知
用 途 別	1 イ 劇場、映画館等													
	口 公会堂、集会場													
	2 イ キャバレー等													
	口 遊技場等													
	2 ハ 性風俗店舗等													
	2 ニ カラオケボックス等													
	3 イ 待合、料理店等													
	口 飲食店				1							1		
	4 百貨店、店舗等													
	5 イ 旅館、ホテル等													
	口 共同住宅等					1						1		
	6 イ 病院、診療所等													
	口 福祉施設等													
	6 ハ 幼稚園等													
	7 学校等													
	8 図書館、博物館等													
	9 イ サウナ浴場等													
	口 イ以外の浴場													
	10 車両の停車場等													
	11 神社、寺院等						1				1	2		
	12 イ 工場、作業場									1		1		
	口 映画スタジオ等													
	13 イ 車庫、駐車場等				1					2	1	4		
	口 飛行機の格納庫等													
	14 倉庫			1		2	1					4		
	15 その他の事業所													
	16 イ 複合用途													
	口 イ以外の複合用途													
専用住宅		1	1	1	8	4	4	3	1	3	1	27	21	
その他														
計		1	1	3	10	7	5	4	3	3	3	40	21	

## 防火対象物地区別及び項目別調

町内別			本 町	上 芦 別 町	西 芦 別 町	頼 城 町	常 磐 町	新 城 町	野 花 南 町	旭 ・ 油 谷	黄 金 町	滝 里 町	計
項目別													
1	イ	劇場、映画館等		2									2
	口	公会堂、集会場	5	4	1	1	1	1	1		1		15
2	イ	キャバレー等	1										1
	口	遊技場等	3	1							1		5
	ハ	性風俗店舗等											
	ニ	カラオケボックス等	1										1
3	イ	待合、料理店等											
	口	飲食店	17	2						2	1		22
4		百貨店、店舗等	31	6	1								38
5	イ	旅館、ホテル等	5	2						3		1	11
	口	共同住宅等	186	32	36	18				2			274
6	イ	病院、診療所等	10	1						1			12
	口	福祉施設等	3							2			5
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1				1		2			7
	ニ	幼稚園等	1	1									2
7		学校等	8	8	2	4	2		2				26
8		図書館、博物館等	2					4			1	1	8
9	イ	サウナ浴場等											
	口	イ以外の浴場	1		1	1				2			5
10		車両の停車場等	1										1
11		神社、寺院等	17	7	2	2	2	2	2	1			35
12	イ	工場、作業場	30	36	4		2	1	2		3		78
	口	映画スタジオ等											
13	イ	車庫、駐車場等	13	5						2			20
	口	飛行機の格納庫等								1			1
14		倉庫	30	19	2		5	4	3	4	11		78
15		その他の事業所	35	8	1	3	3	3	1	4	22	1	81
16	イ	複合用途	52				1			2	1		56
	口	イ以外の複合用途	44	10	1	1	1						57
17		文化財					1						1
計			499	145	51	30	18	16	11	28	41	3	842

## 防火対象物査察実施状況

項別	区分	査対 察象 実物 施数	指導事項			
			防理 火業 管務	消設 防備 用等	防物 炎品	点果 検報 結告
1	イ 劇場、映画館等					
	ロ 公会堂、集会場	3				
2	イ キャバレー等					
	ロ 遊技場等					
	ハ 性風俗店舗等					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 待合、料理店等					
	ロ 飲食店	2		1		1
4	百貨店、店舗等	4	3	11		3
5	イ 旅館、ホテル等	1	1	4		1
	ロ 寄宿舎、共同住宅	3		2		2
6	イ 病院、診療所等	4				
	ロ 老人短期入所施設等	2				
	ハ 老人デイサービスセンター等					
	ニ 幼稚園・特別支援学校					
7	学校等					
8	図書館、博物館等	3		1		
9	イ サウナ浴場等					
	ロ イ以外の浴場					
10	車両の停車場等					
11	神社、寺院等	2	4	3		1
12	イ 工場、作業場	17		9		12
	ロ 映画スタジオ等					
13	イ 車庫、駐車場等	7		2		7
	ロ 飛行機の格納庫等					
14	倉庫	6		1		4
15	その他の事業所	12		2		2
16	イ 複合用途	13	3	10	1	6
	ロ イ以外の複合用途	6	1	4		2
17	文化財					
合計		85	12	50	1	41

## 防火対象物定期点検報告実施状況

区分 項別		該当防火対象物数	点防 火対 象物 検 報 告 物 済 数	特防 火対 象物 例認 定物 済 数	一部 特防 火対 象物 例認 定物 済 又は 済 数	未防 火対 象物 実対 象物 施数
1	イ	劇場、映画館等				
	ロ	公会堂、集会場	11	8	3	
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等	2			2
	ハ	性風俗店舗等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	待合、料理店等				
	ロ	飲食店				
4		百貨店、店舗等	2	2		
5	イ	旅館、ホテル等				
6	イ	病院、診療所等	1		1	
	ロ	老人短期入所施設等				
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	幼稚園・特別支援学校				
9	イ	サウナ浴場等				
16	イ	複合用途	10	5 <small>特例2件含む</small>	3	4
16の2		地下街				
合計		26	15	7		6

## 予防査察実施指導状況(一般対象物)

査 察 区 分		緊急通報システム 設 置 世 帯	個人住宅	合 計
査察総件数(拒否含む)		5 8	1, 3 6 1	1, 4 1 9
指導別		指導件数	0	3 2 9
火を使用する設備・器具の位置・構造	移動式ストーブ その他の器具	位 置 構 造		
		取 扱 方 法		
		可 燃 物 接 近		
	ストーブ関係	位 置 構 造		
		底 面 通 気		
		燃 料 容 器 配 管 等		
		可 燃 物 接 近	4	4
		取 灰 処 理		
	煙 突 関 係	破 損 腐 食 等		
		取 付 支 柱 等	1	1
		壁・天井接近		
		貫 通 部 等		
	調理用器具	可 燃 物 接 近	5	5
		位 置 構 造		
		取 扱 方 法		
		燃 料 容 器 配 管 等		
	給湯設備 ふろがま	可 燃 物 接 近	1	1
		位 置 構 造		
		取 扱 方 法		
	L P G	可 燃 物 接 近		
		取 扱 方 法	1	1
	そ の 他			
電 気	配 線			
	器 具			
少 量 危 険 物	位 置 構 造			
	貯 藏 取 扱		1	1
そ の 他		住宅用火災警報器未設置	3 1 6	3 1 6

## 危険物製造所等別貯蔵・取扱数量

区分	種別 設置数	貯蔵・取扱数量 ( kℓ )				
		第4類				
		第一石油類	第二石油類	第三石油類	第四石油類	計
屋内貯蔵所	8	2.98	19.712	12.53	35.14	70.362
屋外貯蔵所	2		8	24	4	36
屋内タンク貯蔵所	1		1.9			1.9
屋外タンク貯蔵所	10		163.8	20		183.8
地下タンク貯蔵所	55		732.126	272.4		1004.526
移動タンク貯蔵所	38		120.8			120.8
給油取扱所	17	285.25	425.35	3.87		714.47
一般取扱所	16		237.914	32.12		270.034
計	147	288.23	1709.602	364.92	39.14	2401.892

## 地区別危険物製造所等設置状況

区分	地区別 設置数	本 町	上 芦 別 町	西 芦 別 町	常 磐 町	高 根 町	新 城 町	野 花 南 町	滝 里 町	幌 内 町	旭 町	旭 町 油 谷	芦 別
		町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	別
屋内貯蔵所	8	1	5	1									1
屋外貯蔵所	2		2										
屋内タンク貯蔵所	1		1										
屋外タンク貯蔵所	10	1	8	1									
地下タンク貯蔵所	55	28	11	3	1		1	1	1		5	4	
移動タンク貯蔵所	38	29	5				3			1			
給油取扱所	17	8	7			1				1			
一般取扱所	16	9	6				1						
計	147	76	45	5	1	1	5	1	1	2	5	4	1

## 危険物製造所等倍数調

倍数区分	5倍未満	5倍以上	10倍以上	50倍以上	100倍以上	150倍以上	計
		10倍未満	50倍未満	100倍未満	150倍未満		
屋内貯蔵所	6	1	1				8
屋外貯蔵所			2				2
屋内タンク貯蔵所	1						1
屋外タンク貯蔵所	1	2	6	1			10
地下タンク貯蔵所	15	20	16	3	1		55
移動タンク貯蔵所	37	1					38
給油取扱所		1	7	2	2	5	17
一般取扱所	3	3	10				16
計	63	28	45	6	3	5	147

## 甲種防火管理講習修了者数調

年 度	修 了 者 数	年 度	修 了 者 数
昭和36年度～昭和49年度	1,267	昭和60年度	74
昭和50年度	78	昭和62年度	38
昭和51年度	41	昭和63年度	34
昭和52年度	49	平成2年度	63
昭和53年度	43	平成4年度	47
昭和54年度	46	平成7年度	71
昭和55年度	33	平成12年度	65
昭和56年度	42	平成15年度	17
昭和58年度	38	計	2,046

## 防火講習等実施状況

月日	実施内容	対象者	参加人員
5月 12日	消防訓練・避難訓練・防火講習・ビデオ	野花南婦人防火クラブ 野花南老人クラブ	42
5月 24日	防火講習・ビデオ・花火の楽しい遊び方	子どもセンター保育園	57
5月 27日	防火講習・ビデオ・花火の楽しい遊び方	上芦別保育園	25
9月 8日	防災講座	上芦別啓成町内会 ひぐらし老人クラブ	30
9月 21日	防火講習・ビデオ	幸町町内会	34
11月 17日	消防訓練・避難訓練・防火講習・ビデオ	野花南婦人防火クラブ 野花南老人クラブ	31

## 消防協力団体

芦別市危険物安全協会	芦別みどり幼稚園幼年消防クラブ
芦別市防火管理者協会	野花南婦人防火クラブ

各町内会防火部等

芦別連合消防後援会	第1分団消防後援会	第1分団
	第2分団消防後援会	第2分団
	新城町内会(消防後援会)	第3分団
	野花南消防後援委員会	第4分団
	上芦別町消防後援会	第5分団
	西芦別消防後援会	第6分団
	頼城消防後援会	第7分団

## 消防協力団体状況

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
芦別市危険物安全協会	S. 40. 6. 3	46名
芦別市防火管理者協会	S. 42. 11. 27	91名

## 婦人防火クラブ及び幼年消防クラブ状況

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
芦別みどり幼稚園幼年消防クラブ	H. 3. 9. 1	146名
野花南婦人防火クラブ	H. 8. 7. 1	100名

## 危険物安全協会・防火管理者協会活動状況

	会 員 及 び 予 算	活 動 状 況
危 険 物 安 全 協 会	事 業 所 37名 個 人 9名 合 計 46名 予 算 73万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 研修活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察、法令研修</li> </ul> </li> <li>◎ 火災予防運動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防写真新聞の購入、配布</li> <li>・ 防火広報ティッシュの配布</li> </ul> </li> <li>◎ その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会報発行</li> </ul> </li> </ul>
防 火 管 理 者 協 会	防 管 部 84名 設備士部 7名 合 計 91名 予 算 76万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 研修活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察、法令研修</li> </ul> </li> <li>◎ 火災予防運動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防写真新聞の購入、配布</li> <li>・ 防火広報マグネットシート活用</li> <li>・ 防火広報ティッシュの配布</li> </ul> </li> <li>◎ その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防火ビデオ購入、貸出し</li> <li>・ 会報発行</li> </ul> </li> </ul>

平成 23 年版 消防年報

平成 24 年 3 月

芦別市消防本部・署

〒075-0011

北海道芦別市北 1 条東 1 丁目 3 番地

TEL 0124(22)3106  
FAX 0124(23)1960